



人生100年時代の「こころ豊かな人づくり・まちづくり」

令和4(2022)年度

# 佐用町生涯学習活動の あらまし

佐 用 町

## 目次

### 佐用町生涯学習推進施策の体系

## 1 学習環境の整備

### (1) さまざまな主体の連携による生涯学習の推進

① 「佐用町生涯学習推進計画」の推進体制の整備	1
② 佐用町立図書館	1
③ おりひめ文化ホール（さよう文化情報センター）	4
④ スピカホール（スターシャワーの森音楽堂）	5
⑤ 子育て支援センター	6
⑥ 佐用町視聴覚ライブラリー	8
⑦ 平福郷土館	9
⑧ 上月歴史資料館（紙すき文化伝承館）	9
⑨ 佐用町昆虫館	10
⑩ 三日月藩乃井野陣屋館	11

### (2) 多様な学習機会の充実

① 佐用町高年大学	13
② 障がい者社会学級（青い鳥学級・くすの木学級）	14
③ 日本語教室	15
④ イングリッシュ カンパセーション タイム	16
⑤ 地域資源を活用した学習機会の創出と「誇り」の醸成	16
⑥ IT 事業の推進（パソコン教室の開講）	18
⑦ 国際交流協会	19

## 2 こころ豊かな人づくりの推進

### (1) 人権啓発の推進

① 人権教育・学習の推進	21
② 佐用町人権教育協議会	22
③ 人権擁護委員による人権啓発活動	23
④ まちづくりセミナー	24

### (2) 男女共同参画・女性活躍の推進

① 男女共同参画推進計画の推進体制の整備	25
② 女性の就業支援事業	25
③ 男性の料理教室	26

<b>(3) 家庭教育への支援</b>	
① 保育園保護者会研修会 .....	27
② 子育て支援活動 .....	27
③ P T Aの活動 .....	30
<b>(4) 青少年の育成</b>	
① さよう子ども体験くらぶ .....	32
② 地域と学校の連携・協働体制構築事業（放課後子ども教室）	34
③ 自然学校 .....	35
④ English Shower Room（イングリッシュシャワールーム）	37
⑤ 子ども会の活動 .....	37
⑥ 犯罪のない明るいまちづくり町民のつどい .....	38
⑦ 佐用町青少年育成センター（青少年相談室・教育支援センター）	39
⑧ 佐用町地域安全推進協議会「青少年部会」 .....	40
<b>(5) 結婚・就労・定住への支援</b>	
① えん結び支援事業 .....	41

### 3 暮らしを支える学びの推進

<b>(1) 超高齢社会に対応した生涯学習の推進</b>	
① 佐用町高年大学（再掲） .....	43
② 高年クラブ健康ウォーキング .....	43
③ いきいき百歳体操 .....	43
④ 頭と体の健康教室 .....	44
<b>(2) 身近な生活課題や今日的課題の学習</b>	
①防災リーダー育成支援事業 .....	45
②行政課題と重点事業を学ぶ .....	46
③まちづくりセミナー（再掲） .....	47

### 4 スポーツ・レクリエーション活動の振興

<b>(1) 生きがいづくりと健康寿命をのばす生涯スポーツなどの推進</b>	
① スイミングスクール事業 .....	48
② 幼児の体育推進 .....	49
③ 高年クラブ健康ウォーキング（再掲） .....	49
④ いきいき百歳体操（再掲） .....	49
⑤ 頭と体の健康教室（再掲） .....	50

⑥ 職場対抗！60日チャレンジウォーク .....	50
⑦ 佐用町いずみ会 .....	50
<b>(2) 生涯スポーツなどによる地域活性化の推進</b>	
① 兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会 .....	52
② さようマラソン&ウォーク .....	53
③ 因幡街道・千種川ロングライド in 佐用 (いなちくロングライド) 54	
④ 佐用町スポーツ推進委員会 .....	55
⑤ 佐用町体育協会 .....	57
⑥ スポーツクラブ21 .....	58
<b>(3) 社会体育施設の適正な維持と整備</b>	
① ふれあい町民プール (あめんぼ) .....	60
② 上月体育館 (ホタルドーム) .....	60

## 5 地域文化の継承と創造

<b>(1) 芸術・文化活動の推進</b>	
① さよう文化祭 .....	62
② 佐用郡美術展 .....	63
③ 町文化協会 .....	64
④ 佐用郡美術協会 .....	65
⑤ 手づくり文化スタッフ .....	66
⑥ 芸術鑑賞会 .....	66
<b>(2) 伝統文化活動の保存と継承</b>	
① 文化財保護 (佐用町文化財保護審議委員会) .....	67
② 地域活動 (佐用郡地域史研究会) .....	68
③ 佐用町文化財発掘調査・普及活動概要 .....	69
④ 皆田和紙保存会 .....	70
<b>(3) 自然を生かした郷土づくりの推進</b>	
① 姫新線利用促進事業 .....	71
② 佐用ハイキングクラブ .....	72
③ 佐用町南光ひまわり祭り.....	72
④ 佐用町大収穫祭 .....	73
⑤ 農業振興会における各部会研修 .....	73
⑥ 森林作業安全講習会 .....	74

⑦ さよう農の匠養成塾 .....	75
-------------------	----

#### (4) 地域資源を生かした誇れるまちづくりの推進

① 13の地域づくり協議会 .....	76
② 佐用地域づくり協議会 .....	77
③ 長谷地域づくり協議会 .....	78
④ 平福地域づくり協議会 .....	79
⑤ 石井地域づくり協議会 .....	80
⑥ 海内地域づくり協議会 .....	81
⑦ 江川地域づくり協議会 .....	82
⑧ 幕山地域づくり協議会 .....	83
⑨ 上月地域づくり協議会 .....	84
⑩ 久崎地域づくり協議会 .....	85
⑪ 中安地域づくり協議会 .....	86
⑫ 徳久地域づくり協議会 .....	87
⑬ 三河地域づくり協議会 .....	88
⑭ 三日月地域づくり協議会 .....	89
⑮ 佐用チャンネルの制作 .....	90

## 6 資料

---

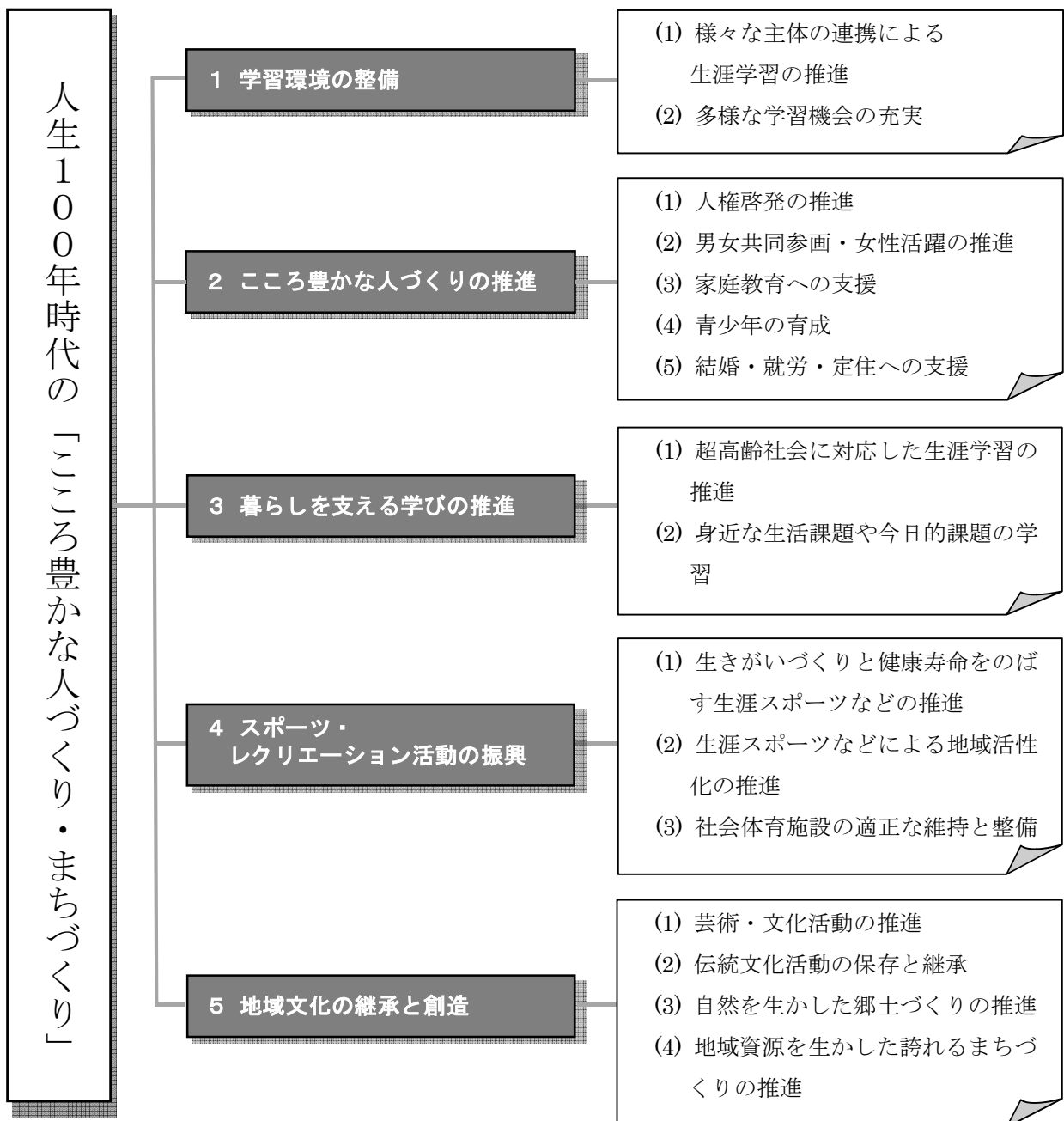
(1) 町内各施設（生涯学習施設等）利用状況 .....	92
(2) 町内各施設（社会体育施設等）利用状況 .....	94

# 佐用町生涯学習推進の体系

## 基本理念

## 推進目標

## 施策



# 1 学習環境の整備 (1)さまざまな主体の連携による生涯学習の推進

## ① 「佐用町生涯学習推進計画」の推進体制の整備 (担当課：生涯学習課)

### 1 趣旨・目的・経緯等

「佐用町生涯学習推進計画」の着実な推進を図ることを目的にした、町行政内部に全課で組織する「庁内ワーキングチーム」。定期的な会議を開催し、全庁で計画的な事業推進を図っている。

### 2 事業内容

「第2期佐用町生涯学習推進計画」及び「第2次佐用町男女共同参画推進計画」の進捗状況確認を行った。コロナ禍のため令和4年度はワーキングチーム会議は実施せず、書面により確認を行った。

日時：令和5年2月～3月

内容：各課の生涯学習及び男女共同参画に関する進捗状況及び内容の確認

### 3 成果と課題

「佐用町生涯学習推進計画」及び「佐用町男女共同参画推進計画」の進捗状況を確認し、今後取り組むべき課題を確認することができた。今後も定期的な進捗確認を行うとともに、ワーキング会議を実施することにより情報共有を行い、生涯学習の観点からみたまちづくりについて検討を重ねていく必要がある。

## ② 佐用町立図書館 (担当課：生涯学習課)

### 1 施設概要

(1) 所在地 佐用町佐用2585番地 さよう文化情報センター内

(2) 開館 平成13(2001)年4月14日

(3) 機能 蔵書10万冊程度の収容能力

(4) 建築面積 延床面積1,254.3㎡

(5) 開館時間等：

・開館時間 午前10時～午後6時

・休館日 毎週月曜日、国民の祝日(ただし、子どもの日と文化の日は除く)、毎月月末、特別整理期間、年末年始

## 2 趣旨・目的・経緯等

すべての町民の読書及び図書館資料に対する要求に応え、自由で公平な資料と情報の提供を中心とする諸活動によって、すべての町民の生涯にわたっての自己学習を保障し、暮らしに役立ち、その質を高め、生活に根ざした文化のまちづくりに資する。

## 3 事業内容

- (1) 実登録者数 6,119人、135団体  
 ・佐用地域 2,617人、39団体 ・上月地域 1,224人、16団体 ・南光地域 1,097人、14団体  
 ・三日月地域 656人、11団体 ・通勤通学 269人 ・播磨圏域 256人 ・その他 55団体
- (2) 開館日数 274日
- (3) 貸出冊数(バーコード付き本) 81,185冊
- (4) レファレンス(資料相談)件数 254件
- (5) 読書相談件数 1,275件
- (6) 予約・リクエスト冊数 2,938冊
- (7) 蔵書数 147,364冊・点  
 ・内訳：一般書 103,543冊・児童書 29,373冊・  
 視聴覚資料 1,621点・雑誌 12,827冊
- (8) 各種行事(会場：さよう文化情報センター、図書館)



「ふるさとだいすき 一本を作って伝えたいこと」

	行事名	対象	参加人数	日時	講師・演題	内容
1	子ども読書週間(4/23～5/29)並びにこどもの日関連事業	①4歳～小学生(保護可) ②③4歳～中学生	①子ども13人 大人5人 ②— ③子ども13人 大人14人 *全ビンゴ達成者は19名	①5月5日(祝) 11時～、14時～ ②4月23日(土)～5月29日(日) ③6月19日(日) 11時30分～	図書館職員 ①こどもの日のおはなし会 ②よむよむビンゴ ③全ビンゴ表彰式	①絵本の読み聞かせ、紙工作(かぶと、かぶとからの金魚)を実施。 ②③ビンゴカードのマス目の課題にそった本を読みタテ、ヨコ、ナナメに列をつくる。全てのマスが埋まったら、館長から表彰状を進呈
2	一般講座	一般 定員：50人	大人51人	7月16日(土) 13時30分～15時	塚崎博行さん(佐用町在住) 「ふるさとだいすき 一本を作って伝えたいこと」	本を出版するに至った経緯や佐用町の魅力、三日月地域での取り組みなどについて話を聞く。
3	夏休み企画	小学生(1・2年は保護者同伴) 定員：10人	子ども13人 大人8人	7月31日(日) 14時～15時30分	図書館職員 「スライムであそぼう！」	形がかわるスライムを作り、いろいろなものを混ぜてスライムがどうなるか観察しよう。



4	夏休み企画	小学4年～ 一般 定員：20人	子ども3 人 大人9人	8月7日 (日) 14時～15 時30分	鎌田美佐江さん（日本折 紙協会認定講師） 「おりがみの達人と折ろ う!!チャレンジおりがみ教 室」	日本折紙協会講師を招 き、「つばめ」「はすの 葉と金魚」「吹きゴマ」 を一緒に折る。
5	読書講演会	一般 定員：200人	163人	8月28日 (日) 13時30分 ～15時	播磨科学公園都市圏域定 住自立圏連携事業 玉岡かおるさん（作家） 「播磨発・知恵と工夫で 拓く未来『帆神』に学ぶ モノづくりのこころ」	播磨科学公園都市圏域定 住自立圏図書館読書活動 推進事業。兵庫県出身。 第41回新田次郎文学賞受 賞作『帆神』の主人公工 楽松右衛門（高砂出身） の人生について話を聴 く。
6	夜の図書館	全般 定員：50人	56人	10月22日 (土) 19時30分 ～20時30 分	軽部りつこさん（オカリ ーナ制作・演奏家） オカリーナ♪ミニコンサ ート in 夜の図書館	19時に再開館。図書館内 でオカリーナやフルーツ 笛の演奏会。演奏会前後 の30分は自由に本を選 び、貸出返却を実施。
7	秋の読書週 間行事	小学5・6年 生 定員：2人	2人	11/6 (土) 9時30分 ～15時	図書館職員 「小学生一日図書館員」	本の貸出や返却、本の整 理などの仕事を体験し、 図書館や本のことを知 る。
8	秋の読書週 間行事	一般	—	10月27日 ～11月29 日	播磨科学公園都市圏域定 住自立圏連携事業 図書館職員 「おいしいものに出会え る本」	定住自立圏図書館連携事 業の啓発を2市2町の図 書館で同時開催。「おい しいもの」をテーマに各 市町しか所蔵していない 又は少ない本をリスト化 し、展示、貸出を実施す るとともに自立圏事業で 作成したチラシ「どの図 書館でも貸出・返却でき ます」を配布。
9	ものづくり 講座	小学1年～ 一般	子ども15 人、大人 17人	12月3日 (土) 10:30～ 14:00～	竹田さん（ファブラボ西 播磨） 「ファブラボ西播磨とコ ラボ！自分だけのオリジ ナルのしおりを作ろ う！」	3DプリンターやLEDレー ザー加工機などを使いな がら、オリジナルのしお りを作る。

10	クリスマス おはなし会	4歳～中学生、保護者	こども5人 大人2人	12月25日 (日) 午前10時 30分～11 時30分	図書館職員	おはなしや絵本、詩の朗 読、紙工作。
11	雑誌リサイ クル市	全般	167人	2月25日 (土)、26 日(日)	図書館職員	保存期限がすぎた所蔵雑 誌を廃棄し、入用な方に 持って帰ってもらう。一 日一人10冊まで。

※毎月第1木曜日 午前10時30分～午前10時45分 わらべうたとえほんの会

※毎週土曜日 午後2時～午後2時30分 あそばせ隊おはなし会

※毎週日曜日 午前10時30分～、午前11時～ 図書館おはなし会

#### 4 成果と課題

本年度も新型コロナウイルス感染症拡大により児童サービスや福祉施設への訪問貸出など実施を中止、縮小せざるを得なかった事業はあったが、年度を通じ開館サービスは維持できた。利用状況は、ほぼ新型コロナウイルス以前の利用状況にもどりつつある。児童サービスについては、一昨年から行ってきたYA（ヤングアダルト、10代を対象とした）コーナー充実のための資料選定が終了し、同コーナーを拡大、利用に供することができるようになった。また、「佐用町子ども読書活動推進計画」（第1次）の計画期間が本年度で終了となるため、関係機関と協力をしながら第1次計画の総括を行い、次の5年間（第2次）の計画を策定することができた。

令和5年度は、引き続き新型コロナウイルス感染予防に留意しつつ、播磨科学公園都市圏域定住自立圏を中心とした広域連携事業及び第2次佐用町子ども読書活動推進計画に基づく児童サービスの推進に努めるとともに、魅力あるサービスの充実とさまざまなツールを利用した情報発信による図書館利用者の拡大が課題である。

### ③ おりひめ文化ホール（さよう文化情報センター）（担当課：生涯学習課）

#### 1 施設概要

(1) 施設所在地：佐用町佐用2585番地

(2) 施設内容：

- ・客席数…固定席：458席 車イス席：4席
- ・舞台規模…間口：14m 奥行：約10m

(3) 開館時間等

- ・開館時間：午前9時～午後10時
- ・休館：国民の祝日（ただし、文化の日は除く。また、子どもの日は図書館のみ開館。）及び年末年始（12月27日～1月4日）

## 2-1 趣 旨

さまざまな学習活動に利用できる、劇場、図書館、展示ギャラリー、会議室などを設置している。

## 2-2 経 緯

生涯学習・情報化社会の拠点として、すべての町民の暮らしとともに暮らしに役立つ文化施設・情報発信の新しい空間として、平成13年(2001年)に開館。

## 3 事業内容

### (1) 和泉元彌と和泉姉妹の狂言ライブ

開催日：令和4年8月6日(土)

入場者数：229人

### (2) 林 真理子講演会

開催日：令和4年10月15日(土)

入場者数：423人

### (3) クリスマス アロージャズオーケストラ in 佐用

開催日：令和4年12月17日(土)

入場者数：154人

### (4) 山本 唯与志 染芸展

開催日：令和5年2月28日(火)～令和5年3月8日(水)



さよう文化情報センター

## 4 成果と課題

貸館利用件数、人数は新型コロナウイルス感染症の影響により貸館数が少なかった昨年度と比べ、増加した。来年度については新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた各種講座や事業の再開、利用者が安心して利用できる文化施設の活動を図っていく。

## ④ スピカホール（スターシャワーの森音楽堂）（担当課：生涯学習課）

### 1 施設概要

(1) 施設所在地 佐用町長尾12番地208

(2) 施設内容

- ・客席数…フラット200席
- ・ステージ奥行6m50cm 天井高9m50cm
- ・ピアノ…スタインウェイD-274

(3) 開館時間等

- ・開館時間：午前9時～午後10時
- ・休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、年末年始（12月27日～1月5日）

## 2-1 趣 旨

音楽をベースに、町民と都市住民との交流を通じて、都市と地域の情報や文化を共感し合い、個性豊かな町民文化の形成を促す。

## 2-2 事業経緯

地域住民の芸術文化の高揚を促進し、併せてコミュニティ活動の増進と地域活性化を図るため、平成3年(1991年)10月にオープンをした。

## 3 事業内容

### (1) ジェイコブコーラー ピアノリサイタル

開催日：令和4年7月2日(土)

入場者数：96人 (100名の入場制限)

### (2) 0歳からのコンサート

あめふりくまのこの音楽会

開催日：令和4年7月18日(月・祝)

入場者数：98人 (100名の入場制限)

### (3) 茨木 智博 オカリナリサイタル

開催日：令和4年10月1日(土)

入場者数：74人

### (4) スピカホールで「夢」を奏でよう

開催日：令和5年3月4日(土)

出演者数：13人



スピカホール

## 4 成果と課題

スピカホールは、木造ホールならではの音の響きが好評を得ており、町民はもとより町外のかたにも、音楽に親しむ場として広く認知されている。例年アマチュアからプロまで多くのかたがピアノ発表会や演奏会で利用し、好季節には、合唱団や吹奏楽部などの合宿や、演奏会の練習に使われるなどの利用者も多い。新型コロナウイルス感染症の影響により、減少していた利用者も令和4年度は回復傾向にあった。今後も十分な感染症対策を行いながら利用者が安心して利用できる文化施設の活動を図っていく。

## ⑤ 子育て支援センター (担当課：健康福祉課)

### 1 施設概要

(1) 施設所在地 佐用町長尾905番地9

(2) 開館時間等 毎週月～土曜日、午前9時～午後5時

## 2 趣旨・目的・経緯等

少子化・核家族化がすすみ、地域社会の人間関係が希薄化しがちな現代社会において、子どもや家庭に関する問題もますます深刻化している。このことは、子どもや家庭だけの問題ではなく、それらを取り巻く大人や地域社会すべてにかかわる問題であり、特に次世代を担う乳幼児をもつ家庭やその保護者への支援は重要な課題である。

さよう子育て支援センターには、両親教育インストラクターが常駐し、育児中の不安や悩み相談に対応すると共に、ママプラザによる親自身の学びの機会づくり、親同士の交流、子育てサークルの育成などを行い、安心して子育てができるよう、母親の育児の悩みや不安を緩和していくことや親育ちのための支援を行う。

## 3 事業内容

(1) 子育てに関する相談・助言・指導等

(2) ママプラザ事業

(3) ファミリー・サポート・センター事業

講習会1回(6日間)、交流会・研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(4) 関係機関との連携・いのちの授業(町内4中学校、2小学校)

対 象	開 催 日	場 所 (参加者数)
佐用中学校3年生	令和4年12月 2日(金)	佐用中学校 (44人)
上月中学校3年生	令和4年12月 6日(火)	上月中学校 (25人)
上津中学校3年生	令和4年12月 8日(木)	上津中学校 (20人)
三日月中学校3年生	令和4年 7月12日(火)	三日月中学校 (18人)
上月小学校6年生	令和5年 1月26日(木)	上月小学校 (26人)
三日月小学校3年生	令和4年10月18日(火)	三日月小学校 (8人)

・児童虐待防止講演会

(1) 日時：令和5年3月3日(金) 14:00～15:40

(2) 場所：南光文化センター

(3) 講師：兵庫県児童虐待防止対策専門員 臨床心理士 頓田二郎さん

(4) 演題：児童虐待の未然防止につながる子育て支援について

(5) 対象：町内小中学校、マリア幼稚園、保育園の各教諭、保育士、民生委員児童委員

(6) 参加者：79人

## 4 成果と課題

今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で活動を縮小したり、やむを得ず行事を中止したりすることが多かった。また、行事を実施しても積極的なふれあいや交流が困難であった。活動が困難な期間中には、ママプラザスタッフから会員に積極的に声をかけ現状を聞

くなどして、必要な方には子育て相談を実施し、保健師の相談につなげるなどしたことは、育児状況の把握ができママプラザの役割を果たすことができた。

ママプラザと中学生とのふれあい交流会は、昨年度と同様新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、中学3年生を対象に「いのちの授業」が継続実施できたこと、さらにモデル的に小学生にまでできたことは、大きな成果である。早い年齢から妊娠・出産についての知識を習得することにより、思いがけない妊娠・出産や将来の児童虐待防止、さらに自殺予防対策にもつながるものとして取り組んでいる。

また、児童虐待防止講演会を3年ぶりに開催し、今後も子育てに関する意識の向上と幅広い知識を習得していただくために実施していきたい。今後においても、未来を担う子どもたちの健やかな成長のために、親子の学び・あそび・交流の場としての環境づくりと、相談業務の充実を図り、関係機関と連携して「子育て支援センター」としての機能向上に努める。

---

---

## ⑥ 佐用町視聴覚ライブラリー（担当課：生涯学習課）

---

---

### 1 施設概要

---

(1) 所在地 佐用町佐用2585番地（佐用町立図書館内）

(2) 内容（資料数）

- ・16mmフィルム 186点
- ・ビデオ 433点
- ・DVD 22点 計 641点

(3) 開館時間等

- ・開館時間 午前10時～午後6時
- ・休館日 毎週月曜日、国民の祝日（ただし、子どもの日と文化の日は除く）  
毎月月末、特別整理期間、年末年始

### 2 趣旨・目的・経緯等

---

佐用町の学校教育及び社会教育における視聴覚教育、また町民の生涯学習の振興を図るために設置し、学校、社会教育団体等へ視聴覚教材及び機材の貸与を行う。

### 3 事業内容

---

令和4年度利用実績

- ・0点

### 4 成果と課題

---

当ライブラリーは、昭和57年の発足以来、多くの住民に利用され、その目的を果たしてきましたが、視聴覚教育のメディアの変化やインターネットの普及によって、利用実績は年々減少し、現在利用が無くなっている。今後はIT社会の対応や見直しが必要である。

---

## ⑦ 平福郷土館（博物館類似施設）（担当課：教育課）

---

### 1 施設概要

---

- (1) 所在地 佐用町平福594番地
- (2) 内容 木造二階建て瓦葺き  
一階展示室 3室、二階展示室 2室
- (3) 開館時間等 土曜・日曜  
国民の祝日（年末年始除く）  
午前9時～午後4時



平福郷土館

### 2 趣旨・目的・経緯等

---

昭和51年度の自治振興事業により建設。同年10月10日開館。

外観は、江戸時代に建てられた平福の南新町にある瓜生原家の建築様式を再現している。

平成17年度からは地元、平福地域づくり協議会が指定管理者として運営にあたっている。

### 3 事業内容

---

#### ・展示業務

一階展示室では平福で使用されていた民俗品ならびに佐用地域で出土した考古遺物の展示。

二階展示室では、利神城から出土したという伝承のある鯪瓦をはじめ、表採や調査等で出土した瓦、土器などの出土遺物の展示。そのほか説明パネルによる解説展示を行っている。

### 4 成果と課題

---

利神城は平成29年10月に国指定史跡に指定されたことから、郷土館はそのガイドンス施設の役割も期待される。現在まで傷みの目立つ外観の修繕、公衆トイレの大幅な改修を行っているが、今後は減少傾向にある来館者を増やすため、展示内容の更新等を計画している。そのうえで施設のあり方自体の検討も必要である。

---

## ⑧ 上月歴史資料館（紙すき文化伝承館）（博物館類似施設）（担当課：教育課）

---

### 1 施設概要

---



- (1) 所在地 佐用町上月373番地  
(2) 内容 資料館：木造平屋造り瓦葺き  
伝承館：木造平屋造り鋼板葺き  
(3) 開館時間等 土曜・日曜  
国民の祝日（年末年始除く）  
午前10時～午後4時



上月歴史資料館

## 2 趣旨・目的・経緯等

資料館は平成17年5月、旧上月町歴史民俗資料館閉館に伴い、上月城跡を中心とした郷土の歴史資料館として開館した。

平成23年3月には、佐用町の伝統的な製紙産業であった皆田和紙の保存と継承を目的として、資料館に隣接して「紙すき文化伝承館」を建設した。

令和4年からは皆田和紙保存会が指定管理者となり管理運営を行っている。

## 3 事業内容

### ・展示業務

資料館では、上月地域の特徴を示す3つの題材をもとに展示を行っている。一つは上月城であり、施設が城の麓に位置している点からもガイド施設としての役割を担っている。平成26年度は黒田官兵衛の影響により多数の来館を得た。もう一つは皆田和紙であり、中世から近代にかけての伝統的な製紙産業である。一度廃れたが、近年有志により復元が行われ、平成26年度には兵庫県の伝統的工芸品に指定されている。残り一つは早瀬土人形である。明治の一時期わずかに数十年のみ生産され、幻の土人形といわれる。

## 4 成果と課題

黒田官兵衛の大河ドラマ放映以後、上月城を訪れる人は増加している。施設は城の麓であるため、城の理解には好都合ではあるが入館にまで至らない事が多い。今後は展示品の充実が必要である。

紙すき文化伝承館は、地元団体が復元・継承を行っているが、今後とも息の長い側面支援が必要である。なお、令和4年度からは指定管理者制度を導入している。皆田和紙の保存と啓発を行っている地元の団体が管理することにより、より弾力的で来館者のニーズに沿った魅力的な運営ができることに期待したい。

## ⑨ 佐用町昆虫館（博物館類似施設）（担当課：教育課）

### 1 施設概要

- (1) 所在地 佐用町船越617番地  
(2) 内容 木造平屋造り、その他、網室、屋外水槽等



- (3) 開館時間等 4月～10月までの土曜・日曜・国民の祝日（年末年始除く）  
午前10時～午後4時

## 2 趣旨・目的・経緯等

昭和46年5月、兵庫県の「兵庫県千種川グリーンライン、昆虫館」として開館。平成20年に県の施設としては閉館。

その後町に譲渡され、平成21年4月、「NPO法人こどもとむしの会」を指定管理者として佐用町昆虫館として再開館。同年8月には水害による大きな被害を受けたものの、同会や多くの人の支援を得て、次年度には無事復旧し、開館することができた。以後現在まで同会が運営する。



佐用町昆虫館

## 3 事業内容

会員の作成した標本などの展示物はあるが、体験型の運営を基本としている。会員は昆虫を始めとした自然科学関係に造詣が深く、それが施設運営に深く関わっている点が特徴的である。

毎年度、「昆虫道場」をはじめとして各種イベントを行っているが、当日開館業務を担う会員の得意分野によっても、それぞれ違う催しを行うことがあり、内容はバラエティに富んでいる。

## 4 成果と課題

夏場は特に南光自然観察村などの宿泊客が来館することが多く、リピーターも多い。また来館者も毎年度4千人前後を推移し、同様の施設と比しても群を抜いている。今後は、この特徴的な会と多くの来館者を、どのように町の活性化へ繋げていくかが課題となる。

コロナウイルス感染症対策では、令和4年度の入館体制でひきつづき予約制を採用するなど、管理者独自の工夫と努力により感染の広がり防止に努めている。また、今年度末には、法人により施設外の土地を利用した虫取りの広場作成を計画しているなど活発な活動を行っている。より来館者が利用しやすいような施設づくりに今後も期待したい。

## ⑩ 三日月藩乃井野陣屋館（博物館類似施設）（担当課：教育課）

### 1 施設概要

- (1) 所在地 佐用町乃井野966番地  
(2) 内容 中御門・物見櫓…木造二階建瓦葺き  
通用御門・長屋御門・長屋…木造平屋造瓦葺き  
(3) 開館時間等 土曜・日曜  
国民の祝日（年末年始除く）  
午前10時～午後4時



三日月藩乃井野陣屋館

## 2 趣旨・目的・経緯等

---

この陣屋は江戸時代の大名、森家の藩庁であり、明治期に除却された。その後、旧三日月町が“三日月城跡（陣屋）保存整備事業”として平成8年～17年にかけて調査・復元を行ったものである。

現在は藩庁の前面部分が復元され、陣屋館として公開されている。敷地は町指定史跡、物見櫓は町指定建造物に指定されている。

## 3 事業内容

---

展示業務を主としている。

長屋部分を簡易展示室として、発掘調査で出土した遺物や、写真・解説パネルによる説明、そのほか鎧の展示を行っている。また、建物自体は「伝統的技術」による復元を行い「文化財たり得る」建物として再建した。関連遺構の動向として、平成29年度には三日月藩乃井野陣屋表門の移築復原が行われ、陣屋町としての往時の雰囲気づくりに一役かっている。

## 4 成果と課題

---

毎年度千人近い来場者があり、他と比べて多い部類となる。ただし展示品の更新が滞っており、対応する必要がある。また、御門橋については築20年を経過して老朽化が進んでおり、その他の建物も老朽化が目立つ箇所が散見される。今後は保存と活用に関する計画と対応が必要となっている。あわせて町内に所在するであろう、三日月藩に関する内容の調査も今後の課題である。

# 1 学習環境の整備 (2)多様な学習機会の充実

## ① 佐用町高年大学 (担当課：生涯学習課)

### 1 趣旨・目的・経緯等

高齢者一人ひとりの教養を高め、自らが生きがいのある充実した生活を築きあげるとともに、人と人とのふれあいの場の創出と、積極的な社会参加を果たすことを目的として開設している。

### 2 事業内容

(1) 学習内容 一般教養講座及び専門講座・クラブ活動。館外研修は中止した。

(2) 学長 佐用町教育長 浅野 博之

(3) 学生数 305名

【一般教養講座】 毎月第3木曜日、午前10時～12時 (講師敬称略)

月	日	学習内容	出席者数
4	21	開講式 記念講演 「佐用町の今、そして未来」 佐用町長 庵途 典章	144
5	19	「ドローンを活用した防災・減災」 一般社団法人ドローン減災士協会 代表理事 久保 正彦 さん	118
6	16	「おもしろ講談 頼朝と北条氏」 講談師 旭堂 南海 さん	136
7	21	「播州と酒」 「龍力」(榊本田商店 会長 本田 眞一郎 さん	91
8	18	「人づきあいで若返る『話し上手・聞き上手』」 夢こらぼ 主催 松尾 やよい さん	中止
9	15	「笑いヨガで心も体もハッピー元気に！」 薬剤師 小西 恭子 さん	91
10	20	「高齢者の消費者被害防止のために」 ひめじ市民法律事務所 弁護士 平田 元秀 さん	95
11	17	館外研修	中止
12	15	「未来のために今を選ぼう ～環境問題やSDGsのはなし～」 関西電力送配電 兵庫支社	71
1	19	「サクソで紡ぐ日本の冬」 サクソ奏者 高林 ひろし さん	98
2	16	「地元ボランティアから見る平福地域の魅力！」 佐用町平福ボランティアガイド協会 佐用山城ガイド協会 春名 政男 さん	102
3	9～16	閉講記念作品展	
3	16	閉講式 「お楽しみ公演」 落語家 桂 文三 さん	

## 【専門講座・クラブ】

地区	専門講座名	講師名（敬称略）	活動場所
佐用	手芸部	坂本 ひとみ	さよう文化情報センター
	歴史部	竹本 敬市	さよう文化情報センター
	盆栽部	森本 和生	鎌井さん宅
	書道部	尾坂 陽代	さよう文化情報センター
	俳句部	船曳 正弘	さよう文化情報センター
	工芸部	蔭木 靖夫	佐用工芸センター
	うたごえ部	高尾 鈴子	生きがいつくりセンター
	ゲートボールクラブ		南光生きがいドーム
	囲碁クラブ		生きがいつくりセンター
上月	園芸部	井瀬 俊一	上月文化会館
	陶芸部	近藤 しゅうじ	総合交流促進施設
	パソコン部	永吉 由美子	上月文化会館
南光	コーラス部	高尾 鈴子	南光文化センター
	料理部/定員 24 名	岡本 千代子 尾川 晴美 久保 真美	
三日月	パソコン部	武内 美佳	三日月地域交流センター
	グラウンドゴルフクラブ		けんこうの里三日月
	陶芸クラブ	西山 孝博	陶芸館

### 3 成果と課題

コロナ禍ではあったが、感染予防対策を講じて開講し、連続性のある学習活動の維持と、高齢者の心身の健康維持に努めることができた。

しかし学生数は、ここ数年減少（令和2年度 419 人→令和3年度 359 人→令和4年度 305 人）し、一般教養講座への参加率も低迷した。また学生数の影響で、専門講座も多少休講となった。

今後も可能な限り連続性のある学習活動を継続し、コロナ禍で弱体化しつつある高年大学の維持と発展に努めたい。

## ② 障がい者社会学級（青い鳥学級・くすの木学級）（担当課：生涯学習課）

### 1 趣旨・目的・経緯等

視覚と聴覚に障がいのある方が教養を高め、日常生活を豊かにする「学び」の機会となる学習会を開催。学級では、学級生同士、介助者との交流の中から、心身の健康の回復・向上を図る。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を見極めながら、感染防止対策を徹底し事業を実施した。

## 2 事業内容

【青い鳥学級】（視覚障がい） 対象：学級生 3名、介助者 1人

講座名	参加人数	期日	会場	内容
クリスマス アロー ジャズオーケストラ in 佐用	参加なし	令和4年12月17日（土） ※事業は実施したが、学級からの 参加希望はなかった。	さよう文化情報セン ター	芸術鑑賞

【くすの木学級】（聴覚障がい） 対象：学級生 7名、介助者 13人

講座名	参加人数	期日	会場	内容
館外研修	9名	令和5年3月8日（水）	あずきミュージアム	調理体験

## 3 成果と課題

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を見極めながら実施を行った。今後も学級生と介助者の感染防止策を徹底、感染リスクが少ない事業を選定し、令和5年度の事業を行っていきたいと考える。

## ③ 日本語教室（担当課／団体名：生涯学習課／国際交流協会）

### 1 趣旨・目的・経緯等

佐用町在住外国人が日常生活に不便のないよう、平易な日本語の習得を支援し、外国人の人権を尊重、国際交流の促進と多文化共生社会の実現をめざす。

## 2 事業内容

### (1) 日本語教室

日時・場所：

- 1班：毎週日曜日 午後 1時00分 ～ 午後 3時00分
- 2班：毎週火曜日 午前10時00分 ～ 午前11時30分
- 3班：毎週木曜日 午後 6時30分 ～ 午後 7時30分
- ◆ さよう文化情報センター・西山会館 ほか

対象：佐用町在住外国人

内容：日本語教室指導スタッフによる日本語学習教室

### (2) 日本語学習支援ボランティア養成講座

スタッフ向けの講座と一般向けの講座を年2回予定

【新型コロナウイルス感染症拡大のため中止】

### (3) さよう国際交流のつどい

日時：令和4年11月20日（日）

内容：日本文化の体験、外国語教室などの交流会ほか

### 3 成果と課題

---

協会設立以降、ホームステイ事業や日本語教室など、異文化交流を進めるための地道な活動は定着しており、また、平成30年度には多文化共生講座を開催し、外国人との交流や多文化共生について学べる機会を設けた。令和4年は、新型コロナウイルス感染対策を徹底して、ボランティアによる自主的な活動を続けてきた。ただし、例年実施してきたスタッフのスキルアップと新たなスタッフ開拓を目的に実施されてきた「ボランティア養成講座」は、感染拡大防止のため、開催を見合わせた。今後は、増加する受講生への対応と、スタッフ・受講生ともにスキルアップに努めながら、受講生の安心した暮らしを支援していく。

---

---

## ④ イングリッシュ カンバセーション タイム (担当課：生涯学習課／教育課)

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

---

社会人対象に、佐用町民の英語学習や国際理解を支援する。

### 2 事業内容

---

(1) 日時：令和4年7月31日（日）、8月20日（土）

13:00～13:50、14:00～14:50、15:00～15:50

1 枠 50 分間 計 4 回

(参加人数：4人)

(2) 場所 さよう文化情報センター

(3) 講師 佐用町ALT（外国語指導助手）2人が交代で務める

(4) 対象 英語学習に意欲のある佐用町民 16歳（高校生）～

(5) 内容 1人あたり50分を目途にした、ALTと一対一で“英語のみ”の対話学習。（教材等は受講者が準備する）

### 3 成果と課題

---

受講者はALTとの1対1で、充実した楽しい英会話を楽しむことができた。

アンケートによると、夏季以外でも事業の実施を希望する意見もあり、参加者の満足度が高い事業になったように考えられる。

---

---

## ⑤ 地域資源を活用した学習機会の創出と「誇り」の醸成 (担当課：生涯学習課ほか)

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

---

佐用町にある「SPring-8」「SACLA」や「兵庫県立大学西はりま天文台」は、施設規模だけではなく、世界の科学技術や天文学の最先端の研究を行う「佐用町の誇り」ともいうべき施設である。しかし、多くの町民は、施設はおろか、研究内容等を知る機会がない。

そこで、佐用町の「誇り」とも言うべきこれらの資源を活用し、それらについて広く町民が学ぶ機会を創出することで、町民としての「誇り」の醸成につなげる。

## 2 事業内容

---

### ■「世界最大級の研究施設を学ぼう」

- (1) 期日：令和4年12月27日（日）
- (2) 場所：理化学研究所播磨放射光科学総合研究センター、兵庫県立大学西はりま天文台
- (3) 講師：上記施設の研究者
- (4) 対象：佐用町在住の小学4年以上、保護者  
参加人数14人
- (5) 内容：研究機関で働く研究者との交流、研究内容の学習、研究施設の見学ほか

### ■「さよう星空撮影会」

- (1) 期日：令和4年8月27日（土）
- (2) 場所：さよう文化情報センター（座学）、  
西はりま天文台公園（悪天候の為撮影会中止）
- (3) 講師：兵庫県立大学西はりま天文台  
理学博士 鳴沢 真也さん  
プロカメラマン（元佐用町地域おこし協力隊）  
小仁 伸浩さん
- (4) 対象：佐用町在住の18歳以上のかた  
参加人数6人
- (5) 内容：佐用町で見られる星空や、光害についての講義。また、その星空を写真で残すための撮影方法等について学んだ。当日は悪天候で残念ながら天文台公園での撮影は中止し、座学のみおこなった。（撮影した写真での写真展も予定していたが、ともに中止。）



## 3 成果と課題

---

【世界最大級の研究施設を学ぼう】年末の恒例行事となった本事業は、コロナ禍であるため、募集人数に定員を設けて実施した。2か所の施設で実際に勤務される研究者のかたから、施設の概要のほか、科学の楽しさ、おもしろさについて学習するとともに、研究者とも触れ合う貴重な機会であるため、今後も一定の継続性を持って取り組みたい。

【さよう星空撮影会】佐用町の魅力を再確認できる機会となった。今後も佐用町の良さを改めて気づき、他者へも発信できる機会を設けていきたい。



## ⑥ IT事業の推進(パソコン教室の開講)

(担当課/団体名：生涯学習課/パソコンであそぼう)

### 1 趣旨・目的・経緯等

近年、IT機器が普及し、インターネットを利用する環境の整備も進んできている中、操作方法などを学ぶ場所、機会はまだまだ少なく独学でマスターするのは非常に困難である。また、誤った操作や不用意な情報の利用によって、犯罪や事故に遭う場合もあり、注意を要する。

そのため、安全な使用方法や、一般的な利用方法を習得し、不安解消と機器のさらなる有効活用の習得をめざす。

### 2 事業内容

#### ■「パソコン教室」

会場：さよう文化情報センター・上月文化会館・三日月支所

	講座名	参加人数	開催日	時間
1	Word 講座	13 人	5/7 (土)、5/14 (土)、5/21 (土)	10:00~12:00
2	Word Part2 講座	12 人	6/14 (火)、6/16 (木)、6/21 (火)	19:30~21:30
3	ドローン講座	5 人	7/30 (土)	9:30~12:00
4	プログラミング講座 【中止】	—	8/9(火)、8/18 (木)、8/23 (火)	19:30 ~21:00
5	スマホ基本基礎講座 【中止】	—	10/8 (土)、10/15(土)、10/22(土)	10:00~12:00
6	年賀状講座(午前)	6 人	12/3 (土)	10:00~12:00
7	年賀状講座(午後)	6 人	12/3(土)	13:00~15:00
8	Word 講座	3 人	1/14(土)、1/21 (土)、1/28 (土)	10:00~12:00
9	Excel 講座 【中止】	—	2/4(土)、2/18(土)、2/25(土)	9:00~11:00
10	スマホ基本 講座 【中止】	—	3/4(土)、3/18(土)、3/25(土)	9:30~11:30

#### ■スマホ教室 2022

- (1) 期日：令和4年12月21日(水) 13時30分～
- (2) 場所：さよう文化情報センター
- (3) 講師：中村拓也さん(元佐用町地域おこし協力隊) 他
- (4) 対象：佐用町在住のかた(高齢者・初心者の方中心に)  
参加人数 11人





- (5) 内容：スマートフォンを利用する際に気を付けること、利用料、マイナンバーカードについて全員で受講した後、具体的な操作方法についてグループに分かれて学んだ。

### 3 成果と課題

安価で気軽に受講でき、少人数制によるきめ細やかな指導が受けられる講座として、特に高齢者のパソコン初心者の方から喜ばれている。今後も時代の要請に応じた講座や、情報リテラシーの向上が図られる講座の開催を検討し、参加者数の増加をめざすことが望まれる。

また、世の中のIT化に伴い、特に高齢者に対し必要性が高くなるとされるスマートフォンの講座について、関連部署と連携を取りながら進めていきたい。

---

## ⑦ 国際交流協会 (担当課：企画防災課)

- (1) 代表者 会長：中井 達也  
(2) 構成人数 15人
- 

### 1 趣旨・目的・経緯等

平成11年3月、大阪大学の留学生を受け入れるホームステイ事業を行うことをきっかけに、旧上月町で発足。ホームステイ事業を継続するとともに、町民が外国人等との交流を通じて異文化理解を深め、国際社会に羽ばたける人材育成の下地作りのため、また外国人が住んでよかったと感ずることができるまちづくりに貢献するため、田舎の良さを活かした地道な活動を行っている。平成30年度には、久崎小学校の跡地で日本語学校が開校し、町内居住の外国人が増えることを考慮し、多文化共生講座を実施した。

### 2 事業内容

- (1) 第23回 国際交流ホームステイ事業「いなかのえんげ」  
(大阪大学の留学生を受け入れるホームステイ事業)  
期日：令和4年8月 【新型コロナウイルス感染症拡大のため中止】  
内容：大阪大学の留学生を町民家族が3泊4日で受け入れ
- (2) 日本語教室（町内在住の外国人にボランティアで日本語を教える教室事業）  
内容：①日本語能力に応じたクラス編成で、月2～4回程度実施  
②インストラクター養成講座 【新型コロナウイルス感染症拡大のため中止】
- (3) 「さよう国際交流のつどい」  
期日：令和4年11月20日（日）  
内容：日本語教室受講生が学習の成果を発表  
日本文化体験や国際交流に興味のある町民と外国人との交流
- (4) 各種イベントでのPR活動  
内容：町内外で開催される各種イベントに参加・出店し、活動のPRを行うとともに、ホームページ作成及び会員の募集活動を実施

### 3 成果と課題

---

協会設立以降、ホームステイ事業や日本語教室など、異文化交流を進めるための地道な活動は定着しており、また、平成 30 年度には多文化共生講座を開催し、外国人との交流や多文化共生について学べる機会を設けた。令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、中止になった事業もある中、町内で実施する行事については感染症対策を取ったうえで実施出来たものもあった。

今後の課題として、コロナ禍以前とは状況がかなり変わっており、現状に合わせた事業の実施を行う必要がある。

## 2 こころ豊かな人づくりの推進

### (1) 人権啓発の推進

#### ① 人権教育・学習の推進

(担当課：生涯学習課／教育課／南光支所)

#### 1 趣旨・目的・経緯等

お互いの人権が真に尊重され、誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会のため、人権教育・啓発活動が必要である。町では「人権文化をすすめる町民運動」として、多様な今日の人権課題や、8月の人権強調月間に対応し、「人権まちづくりフェスタさよう」や「人権文化講演会」などを実施するほか、地域における学習活動の支援など、広く人権教育・啓発活動に取り組んでいる。

#### 2 事業内容

##### (1) 人権文化講演会&ふれあいシネマ

日時：令和4年7月30日（土）

場所：さよう文化情報センター

内容：●人権講演会「無意識の偏見について（アンコンシャス・バイアス）」講師：助野 慎一郎さん

●映画作品「心の傷を癒すということ」

参加人数：99人



人権講演会の様子

##### (2) 人権まちづくりフェスタさよう2022

日時：令和4年11月26日（土）13時～16時

場所：さよう文化情報センター

内容：●人権啓発優秀作品・入賞作品 表彰 ●人権作文朗読

●人権講演会「虐待の淵を生き抜いて～人にも自分にもあたらない社会をめざして～」

講師：島田妙子さん

参加人数：115人

##### (3) 人権啓発作品展

会期：令和4年11月16日（火）～11月27日（日）

場所：さよう文化情報センター

内容：●人権作文・人権書道優秀作品の展示

●人権の花運動パネルの展示

●町内幼保園児、小中学校児童生徒による人権啓発ポスターの展示

●人権啓発入賞作品（標語）の展示

●福祉関連施設利用者による作品展



人権啓発作品展の様子

##### (4) 人権文化をすすめる町民運動推進会議

日時：第1回 令和4年6月23日（木）

第2回 令和4年9月29日（木）

第3回 令和4年12月20日（火）

場所：さよう文化情報センター

内容：町全体で人権啓発に取り組むための連絡会

- 人権啓発事業について意見交換
- 人権啓発作品の審査、情報提供 ほか

構成団体：自治会連合会、地域づくり協議会、社会福祉協議会、町高年クラブ、身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、民生委員児童委員協議会、人権教育協議会、龍野人権擁護委員協議会佐用部会、郡PTA連合会、郡経営者協会、保育園保護者会連絡協議会

(5) 他人権啓発活動

- ア 隣保館の運営（中安ふれあいセンター運営協議会）
- イ 「広報さよう」への人権啓発関連記事の掲載
- ウ 西播磨人権教育研究協議会など関係機関との連携、地区大会等への参加
- エ その他人権啓発の情報提供

### 3 成果と課題

佐用町では、特に大きな人権問題は顕在化していないものの、さらに人権啓発及び教育活動の充実を図る必要がある。

一人ひとりが自己実現を図り、いきいきと暮らせるまちづくりに、人権尊重の理念は欠かせない。また、人権尊重について日常的に考えたり、行動したりすることが定着する社会をめざすことが不可欠である。今後も、各種事業の実施や広報誌などの媒体を活用した身近な啓発事業にも積極的に取り組んでいく。

---

## ② 佐用町人権教育協議会（担当課／団体名：教育課・生涯学習課／佐用町人権教育協議会）

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

(1) 学校・園における人権教育

人権教育の内容・活動をすべての領域・教科等に位置づけ、教育活動全体を通じて推進する。

(2) 社会教育における人権教育

人権が尊重されるまちづくりや家庭づくりをすすめ、自己変革につながる学習活動を展開する。

### 2 事業内容

事業名 佐用町人権教育研究大会

- 日 時 令和4年7月22日（金）午後1時～午後4時30分
- 会 場 さよう文化情報センター
- 内 容 講演会・分科会

#### 【講演会】

- ・演題 「同和問題を自信を持って指導するために」
- ・講師 三木市人権・同和教育協議会副会長 春川 政信 さん

### 【分科会】

- ・人権感覚の素地を培う保育・教育
- ・人権・同和学习（小学校・低学年）
- ・人権・同和学习（小学校・高学年）
- ・人権・同和学习（中学校）
- ・学校における自主活動
- ・いじめ・不登校

○ 参加者数 約120人

## 3 成果と課題

---

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため全体会・講演会は中止し、分科会のみ実施したが、今年度は、3年ぶりに全体会・講演会も実施した。

講演会では、春川先生から同和教育の歴史や部落差別解消推進法について学んだ。

6つの分科会を開き、それぞれ2校園から取組の報告がされ、活発に討議した。

研究大会以外にも、各学校園において教育活動全体を通じて人権教育に取り組んだ。

今後も、様々な人権侵害を防止するための教育に取り組んでいく。

---

---

## ③ 人権擁護委員による人権啓発活動

(担当課/団体名：住民課/龍野人権擁護委員協議会佐用部会)

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

---

基本的人権に対する悩みを相談する身近な窓口としての人権擁護委員というものを知ってもらおうと共に、人権尊重の関心を呼び掛けている。

### 2 事業内容

---

#### (1) 町内街頭啓発活動（人権週間・街頭啓発）

1. 日時：令和4年12月6日（火）
2. 場所：マックスバリュ佐用店
3. 対象：一般町民（参加人数 200人）
4. 内容：人権啓発グッズ配布により、人権尊重を呼び掛け。

#### (2) 特設人権相談所開設

年間7回、町内4か所で特設人権相談所を開設し、人権侵害について悩んでいる方の相談を受けている。

#### (3) 人権教室

1. 日時：令和4年12月1日（木）
2. 場所：三日月小学校（4.5.6年生）
3. 内容：人権擁護委員とNTTドコモとの連携した「スマホ・ケータイ人権教室」の開催。スマホなどの正しい利用法や危険性、今問題になっているネットいじめなどについて学習した。

### 3 成果と課題

---

啓発活動を通して町民に人権について考える機会をつくることができた。また、人権教室の実施により幼少期からの人権に関する興味へと繋がり、小学校では社会的に問題になっているネットいじめなどについても学習し、今後も人権尊重について呼び掛けると共に、「人権擁護委員」を知ってもらうための更なる周知活動が必要と思われる。

---

---

#### ④ まちづくりセミナー

(担当課：生涯学習課)

---

---

##### 1 趣旨・目的・経緯等

---

まちづくりセミナーは、佐用町が抱えるまちづくりの課題に直結するテーマで学習し、さらにまちづくりを推進するために実施する不定期の講座である。

令和4年度は、「人生100年時代。自分や大切な人たちの健康や生活について考え、ともに生き生きとくらししていくために。」をテーマに、高年介護課と共催でセミナーを開催した。

##### 2 事業内容

---

1. 日時：令和4年6月26日（日）午後2時～
2. 場所：さよう文化情報センター
3. 講師：姫路医療センター緩和ケアセンター長 吉村 純彦医師  
対談：ラジオパーソナリティ 谷 五郎さん
4. 演題：自分らしく生活をするために 緩和ケアについて知りましょう
5. 参加人数：197人

##### 3 成果と課題

---

他課と共同開催することにより事業の幅が広がり、人生100年時代の生き方について考える良い機会になった。アンケート回収率も81.2%と高く、このうち「今後の参考になった」回答が85%を占め高い評価を受けた。今後もコロナ禍であるが、感染防止対策を講じながら事業を推進していく。

## 2 ころ豊かな人づくりの推進 (2) 男女共同参画・女性活躍の推進

### ① 「佐用町男女共同参画推進計画」の推進体制の整備

(担当課：生涯学習課／健康福祉課／商工観光課)

#### 1 趣旨・目的・経緯等

依然として性別役割分担意識が残る中、人口減少と高齢化の進展の中進められる地域創生や、「女性の職業生活における活躍推進に関する法律」の施行など、男女がそれぞれの職場、地域、家庭でさらなる参画を果たし、まちづくりに様々な人たちの知恵やアイデアを生かすことができるよう、令和3年度に第2次佐用町男女共同参画推進計画を策定した。

なお「佐用町男女共同参画推進計画」は、「男女共同参画社会基本法」に基づくほか、同計画の一部は「女性の職業生活における活躍推進に関する法律」「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」の市町村計画となっている。

#### 2 事業内容

庁内の室長級職員で組織するワーキングチームにおいて、「第2次佐用町男女共同参画推進計画」の進捗状況確認を行った。コロナ禍のため令和4年度はワーキングチーム会議は実施せず、書面により確認を行った。

日時：令和5年2月～3月

内容：各課の生涯学習及び男女共同参画に関する進捗状況及び内容の確認

#### 3 成果と課題

第2次佐用町男女共同参画推進計画の各課における取り組みについて確認を行った。今後さらに実施に向けた協議をし、積極的な取り組みを行う必要がある。

### ② 女性の就業支援事業 (担当課：生涯学習課／健康福祉課／商工観光課)

#### 1 趣旨・目的・経緯等

再就職や起業をめざす女性、今後の自らの働き方やライフプランを考えたいという女性などを対象に、セミナーや個別面談などを通じて情報交換や不安解消の機会とし、就業に関わる第一歩を支援する。

## 2 事業内容

兵庫県立男女共同参画センターが開催する「出張！女性のための働き方セミナー」「出前チャレンジ相談」事業を活用。

事業名	時間	募集人数 (参加人数)	内容
～自分らしい働き方を見つけよう！～「女性のための時間管理術」	午前 10 時 30 分～ 12 時	8 人 (5 人) 一時保育なし	ワークライフバランスを考える
出前チャレンジ相談	①午前 11：00～ ②午前 11：50～ ③午前 12：00～	3 人 (1 人) 一時保育なし	1 枠 5 0 分、再就職や起業のための個別相談 (午前中 3 枠を予定)

## 3 成果と課題

一人で悩んでいたことが、講師の話を聞いたり、参加者同士の会話によって軽減したり、自分にはない考え方を知ることによって、一歩踏み出すきっかけとなった。今後も健康福祉課及び商工観光課と情報共有し、参加者のニーズに対応していきたい。

### ③ 男性の料理教室 (担当課：生涯学習課／健康福祉課)

#### 1 趣旨・目的・経緯等

男性の家事への参画促進と、健康づくりを目的に健康福祉課と共催。「自分で料理が作れることは、自分や家族の身を守ることに繋がる。防災と同じ。」として事業を実施。

#### 2 事業内容

1. 日時：令和 4 年 3 月 9 日 (木) 午前 1 0 時～
2. 場所：佐用町保健センター
3. 講師：町管理栄養士
4. 内容：健康・栄養についての話と、季節の野菜をたっぷり使った料理講習会。
5. 参加人数：4 人

#### 3 成果と課題

管理栄養士の指導により調理実習だけにとどまることなく、料理をすることの意義や、自身や家族の健康を守るための取り組み方について具体的に話し合うことも出来た。事業は大変好評であり、今後継続した取組を行い男性の家事参画へとつなげていく。

課題は、参加人数が少なかつたため、募集方法や周知の仕方について検討の必要がある。



## 2 こころ豊かな人づくりの推進 (3)家庭教育への支援

### ① 保育園保護者会研修会

(担当課／団体名：健康福祉課／生涯学習課／佐用町保育園保護者会連絡協議会)

#### 1 趣旨・目的・経緯等

- (1) 人間形成の基盤となる幼児期の子どもをもつ親が、家庭教育や子どもの人権についての学習を積み重ね、親としての教育力や人権感覚を身につける。
- (2) 親としての在り方を学ぶ環境が失われつつある中、幼児期の子どもと直接関わる保育園保護者会のリーダーを対象に「楽しい親まなび」の場を提供し、家庭や地域活動に生かせる実践力を養う。

#### 2 事業内容

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会の実施なし。  
役員のみで集まり、情報交換をした。

#### 3 成果と課題

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会を実施しなかった。子育て世帯へ伝統的な遊びの大切さなどを通じ、地域とのつながりの中での子育てについて、学ぶ機会を来年度は提供できるよう努めたい。

### ② 子育て支援活動 (担当課：健康福祉課 ママプラザ)

#### 1 趣旨・目的・経緯等

安心して、子どもを産み育てることのできる環境づくりの一つとして、さよう子育て支援センターの中に「ママプラザ」を開設する。  
近年、近所とのつながりの希薄化、少子化、多世代同居の減少などによって、子育て世代の親が負担や不安を抱え、社会から孤立してしまうことなどがよくみられる。ママプラザにおいて、「つながれ、ひろがれ、子育ての輪」をテーマに、より身近な「環境での居場所づくり」と、子育て真っ最中の保護者の相談、親同士が学びあえる場の提供、子育てサークルへの支援など子育てする者同士が共に助け合い成長できることをめざしている。



リトミックの様子(令和4年度)

## 2 事業内容

対象：子育て中の親子及び祖父母

	行事名	日時	場所	参加人数	内容
1	ママプラザ開講式	令和4年4月	さよう子育て支援センター	71人	年齢別教室で「はじめましての会」を順次実施 0歳児親子教室 1歳児親子教室 2.3歳児親子教室
2	ママセミナー 「防災学習」	令和4年5月 【中止】	佐用消防署		防災学習
3	親子セミナー 「父と子の ふれあい講座」	令和4年7月3日(日)	さよう子育て支援センター	20人	・講演会 ・子どもがパパを大好きになる遊び ・パパだけの座談会交流
4	地域交流 七夕交流会	令和4年7月	さよう子育て支援センター	69人	・年齢別教室で七夕会を実施 ・七夕の由来を学ぶ ・伝統行事を学ぶ ・いずみ会との交流は中止
5	わくわくランド (おみせやさんごっこ)	令和4年10月28日 (金) 午前10時～	さよう子育て支援センター	38人	・おみせやさんごっこ ・手遊び、ごっこ遊びほか
6	親子運動あそび	令和4年9月 【中止】	さよう子育て支援センター		健康運動指導士による ・親子ふれあい体操 ・用具を使った運動遊びの指導
7	自然体験 「さつまいも作り」	令和4年5月17日 (火) 午前10時～ 令和4年10月18日 (火) 午前10時～	さよう子育て支援センター	26人	・自然の中で季節を感じる ・さつまいもの苗植えと収穫体験
8	保育園・幼稚園児との 交流会	令和4年11月 【中止】	佐用保育園		・園児とのふれあい遊び ・各部屋の見学 ・園生活のお話
9	地域交流 昔あそび	令和5年3月8日 (水) 午前10時～	さよう子育て支援センター	34人	・伝承遊び(いろんなこま遊び) ・わらべうた遊び ・江川愛育班との交流

10	ママプラザ閉講式	令和5年3月 全体での閉校式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子育て支援センター	72人	年齢別教室で「おおきくなったね」の会を順次実施 0歳児親子教室 1歳児親子教室 2. 3歳児親子教室
----	----------	---	-----------	-----	---



父と子のふれあい講座の様子（令和4年度）



1歳児親子教室の様子（令和4年度）

### 【命の大切さを学ぶ交流会】

#### ●子育て中の親子と中学生との交流会（町内4中学校、全5回）

- 内容：・全体会（自己紹介とふれあい遊び）  
・班別交流、身長・体重測定、遊び交流、出産・育児等の話  
・全体会（まとめ）質問、感想を介しての交流のまとめ

対 象	日 時	場 所（参加者数）
佐用中学校3年生	令和4年10月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
上月中学校3年生	令和4年10月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
上津中学校3年生	令和4年10月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
三日月中学校3年生	令和4年10月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### 【サークル活動】

場所：さよう子育て支援センター

	サークル名	回数・参加人数	内 容
1	絵本の会	9回 のべ82人	講師：佐用町立図書館司書 ・図書館司書による読み聞かせ ・わらべうたあそびの指導 ・絵本に興味を持たせる活動の展開
2	リトミック	9回 のべ351人	講師：杵築 二美香さん ・音楽遊び、リズムに合わせて動く ・季節の歌を知る、歌う ・親子で触れ合いながらコミュニケーションを学ぶ
3	0歳児 親子教室	18回 のべ400人	・ひよこ（2か月～6か月）、りす（7か月～11か月）、うさぎ（12か月以上）の3クラスに分けて成長に応じた教室を開催 ・親子のふれあいを深める遊びの提供 ・親同士の仲間づくり ・子育ての学びの場の提供 ・お誕生会 ・「成長記録」記入
4	1歳児 親子教室	10回 のべ220人	・親子がふれあう遊びの指導 ・親子製作 ・親同士、子ども同士の交流 ・子育て情報の提供 ・子育て相談

5	2・3歳児 親子教室	10回 のべ148人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを取り入れた遊びの提供</li> <li>・親子がふれあう遊びの指導</li> <li>・親同士の育児交流、子ども同士の交流</li> <li>・子育て相談</li> <li>・生活習慣や人との関わり方等について親子で見直す場の提供</li> </ul>
6	クッキング サークル	1回 のべ8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育を考え、食の大切さや好き嫌いなくいただくことを伝える</li> <li>・いずみ会との交流（食の伝承）</li> <li>・親子で手づくりする</li> <li>・特産品の紹介</li> </ul>
7	はんどめいど サークル	5回 のべ73人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な手作りの技法の習得</li> <li>・子どもの物や家庭で使う物の手作り</li> <li>・親同士の交流を深め、子育ての情報交換や不安、悩みの解消の場の提供</li> </ul>
8	先輩ママの会	11回 のべ22人	<p>対象：保育園児の親から上の年代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代の情報交換の場の提供</li> <li>・ママプラザ親子との交流</li> <li>・子育て知恵の伝承</li> </ul>
9	親子 ふれあい遊び	9回 のべ25人	<p>月1回土曜日開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子のふれあいを深める遊びの提供 わらべうた遊び、用具を使った遊び、リズム遊び など</li> <li>・親同士の交流の時間を設け、子育てについて考える場の提供</li> <li>・子育て相談</li> </ul>
10	ほっこり ルーム	12回 のべ70人	<p>月1回開催（保健師、管理栄養士も対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子がリラックスした中で、育児の不安や悩みについて話を聞く</li> </ul>

### 3 成果と課題

毎月の年齢別親子教室やサークル活動を通して、親子がふれあい助け合いながら子育てを考える場を提供し、共通の目的意識をもつことで親の気づきを促す活動を目指している。開催回数を重ねる中、参加者同士が顔見知りになり会話も増えていくことであたたかな雰囲気づくりができ、他人の子育てにふれることで新たな発見と学習をすることができるようになった。令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大も徐々に落ち着き、中止となっていた季節行事やセミナーも数回開催することができた。感染予防を講じながらの小規模開催ではあったが、参加体験型の学習会を提供できたことにより、普段関わりの少ない父親同士の交流や地域の方々との異世代交流が実現し、親子にとってより良い成長のための取り組みに繋がられた。中でも父親対象の学習会は、日常生活における父親の役割や子育ての楽しみ方、夫婦の子育て意識についても意見交換が活発で、子育てに役立てることができた内容だったと感じられた。

今後は、引き続き安全で安心できる活動場所を提供し、途絶えつつあった子育て仲間とのつながりを深めるとともに、楽しみながら学べる環境づくりをしていきたい。また、少子化が進む中、少しでも多くの親子が参加できるように保健師や栄養士と連携を取りながら活動を進めていきたい。

### ③ PTAの活動（担当課／団体名：教育課・生涯学習課／佐用郡PTA連合会）

- (1) 構成人数 会員数 1158人
- (2) 構成部会等単位PTA数 9
- (3) 構成部会 会長会・編集委員会

#### 1 趣旨・目的・経緯等

- (1) 佐用郡内PTA相互の連絡を密にし、その健全な発展を図ることに努力する。
- (2) 民主的教育に対する理解を深め、これを推進するために努力する。

- (3) 家庭・学校・社会が一体となり、児童青少年の心身の健全な発達をはかることに協力する。
- (4) 家庭生活及び社会生活の水準を高め、よりよき教育的環境を醸成するために成人教育を盛んにすることに協力する。

## 2 事業内容

---

### 事業名 P T C A 活動実践発表表

- 日 時 令和4年11月26日(土) 午後1時～午後4時
- 会 場 さよう文化情報センター
- 内 容 P T C A 活動実践発表を人権まちづくりフェスタさよう2022において実施
  - ・ ステージ発表 『今年度の佐用小P T A の取組』 佐用小学校P T A
  - ・ 誌上発表 『地域と保護者、学校の連携を大切にしたP T C A 活動をめざして』  
上津中学校P T A
- 参加者数 約110人

## 3 成果と課題

---

地域と保護者、学校の連携を大切にしたP T C A 活動について報告があり、成果と課題について共有することができた。また、地域で子どもを見守っていくことの重要性を再認識することにつながっている。

## 2 こころ豊かな人づくりの推進 (4) 青少年の育成

### ① さよう子ども体験くらぶ (主管課：生涯学習課)

#### 1 趣旨・目的・経緯等

平成14年度から行われた佐用郡教育委員会社会教育課「ふるさと文化再発見アクションプラン」の終了に伴い、平成16年度から子どもの自然体験と創作活動を行う、グループ活動を主にした月1回のプログラムを開始。「さよう子どもアートスクール」という事業名で平成18年度から生涯学習課が担当していたが、平成25年度より「さよう子ども体験くらぶ」に改編した。改編後は不定期に開催し、講座ごとに参加募集をしている。

①五感を刺激する体験活動

②異年齢集団によるコミュニケーション能力の向上促進

③地域資源の活用による、地域人材・各種団体の連携活性化を通じて、佐用に育つ子どもたちがふるさとを愛し、生きる力と心を養うことをめざす。

平成27年度から、それまで支所において夏休みに開催していた体験教室を、体験くらぶ事業の一環として開催し、地域のかたの指導を受けながらより統一的・全町的に募集している。

令和4年度は、コロナ禍で一部開催ができなかった事業もあるが、感染防止対策を講じて、出来る限り実施してきた。

#### 2 事業内容

対象：町内小学生

	行事名	日時	場所	募集人数 (参加人数)	講師	内容
1	千種川の水生物調査	令和4年 5/21(土)	下秋里 集会所	20人 (19人)	横山正さん (千種川圏域清流づくり委員会)	豊かな生態系にふれ、川遊びを楽しむとともに、佐用の自然の豊かさを体感し、郷土愛を深める。
2	親子レクリエーションスポーツ体験会	令和4年 7/31(日)	上月体育館	(10人)	スポーツ推進委員	フロアカーリングなどのレクリエーションスポーツを体験し、体を動かす楽しさを知る。
3	千種川チチコ釣り船越大会!【新型コロナウイルス感染拡大により中止】	令和4年 8/21(日)	南光 自然観察村	15人	横山正さん (千種川圏域清流づくり委員会)	千種川圏域清流づくり委員会と共催。川遊びを楽しみ、佐用の自然の豊かさを体感し、守り育てる心を養う。
4	さよの森あそびDAY	令和4年 11/27 (日)	西はりま天 文台公園	(親子 22人)	町内林業関係業者等	佐用の豊かな自然の中で、林業体験や木工体験を楽しむとともに、自然の豊かさを体感、郷土愛を深める。



5	世界最大級の研究施設を学ぼう	令和4年 12/27 (日)	SPring8・ SACLA・県立 大学西はり ま天文台	(親子 14人)	理化学研究所研 究員・天文台 鳴沢真也さん	理化学研究所と県立大学西 はりま天文台と連携。佐用 町が世界に誇る研究施設と、 そこで行われる研究内容を 学び、誇りの醸成に努め た。
---	----------------	----------------------	---------------------------------------	-------------	-----------------------------	--

### 【夏の体験くらぶ】

対象：町内の児童（と保護者）

夏休みを利用し、ふだん家庭では経験できないことを楽しみながら体験することで、創意工夫への関心を高める。また親子や友だちとの共同体験を通じて、豊かな感性を養う。

#### (1) 陶芸コース

【上月】（参加人数 親子4組7人）

日時：令和4年7月23日（土）午前9時～

令和4年8月20日（土）午前9時～（色付け）

会場：JR上月駅併設の陶芸室

講師：高年大学上月陶芸部の皆さん

内容：自由な作品づくり

【三日月】

日時：令和4年7月28日（木）午前9時～（参加人数 児童10人と保護者）

令和4年8月4日（木）午前9時～（参加人数 児童10人と保護者）

会場：三日月陶芸センター

講師：三日月陶作グループの皆さん

内容：自由な作品づくり



陶芸コースの様子

#### (2) プログラミング講座（児童12人）

日時：令和4年8月2日（火）・8月5日（金）

8月9日（火）・8月17日（水）

いずれも午前10時30分～

会場：さよう文化情報センター

講師：地域おこし協力隊 中村 拓也 さん

内容：デザイナー体験



プログラミング講座の様子

#### (3) 電子工作コース（児童8人）

日時：令和4年7月29日（金）午前10時～

会場：さよう文化情報センター

講師：佐用町・IDEC有限責任事業組合 技師ほか

内容：ソーラー電池で動くおもちゃの作成

## 3 成果と課題

佐用町の自然や特徴ある施設などを舞台に行うことをコンセプトに、さまざまな体験活動を行ってきた本事業であるが、新型コロナの影響で一部事業を中止せざるをえない状況となった。しかし、可能な限り事業を実施し、今年度は新たに、町内林業関係の皆様との協力を得て、自然環境を活かしたプログラムも開催した。ふだん家庭ではできないことが体験できる場として、今後も新たな魅力ある事業の検討を行いながら継続していきたい。

---

## ② 「地域と学校の連携・協働体制構築事業(放課後子ども教室)」

「ひょうご放課後プラン(子ども教室型)事業」改め (担当課：生涯学習課・委託先 佐用町社会福祉協議会)

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

子どもたちの健全な育成には、家庭や学校だけではなく、地域も含めた教育力が不可欠である。そして、学校・家庭及び地域住民がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子どもたちを育む体制づくりが重要である。そのため、放課後や週末等に、子どもたちが地域の人々とふれあい、遊び、学習することができる居場所として「子ども教室」を設けている。地域の方々の参画の中、子どもたちの社会性、自主性、創造性の涵養を図るとともに、地域社会全体の教育力の向上を図っている。



子ども教室の様子

本事業は、平成16年度から文部科学省委託事業として開始した「子どもの居場所づくり事業」からの流れをくみ、平成19年度に創設された「放課後子ども教室推進事業」が「地域と学校の連携・協働体制構築事業」として再編された。

令和4年度は、月1～2回ペースで季節行事や体験事業などを実施した。

### 2 事業内容

- (1) 日時：三日月放課後子ども教室  
年間15日(土・日曜日と長期休暇)
- (2) 場所：三日月福祉拠点施設(きらめきケアセンター三日月)ほか
- (3) 講師：地域の方による指導
- (4) 対象：三日月小学校区(参加人数 延べ245人)
- (5) 行事：季節行事や体験事業
- (6) 内容：どろんこ遊びや夏祭り、陶芸教室や餅つき体験など

### 3 成果と課題

子どもたちの健全な育成にむけた様々な事業が行われた。コロナ禍ではあったが、事業は予定どおり開催することができた。ボランティアスタッフの高齢化などが懸念されているが、新たに参画する地域住民も出てくるなど、明るい話題もある。

様々な懸念があるが、ボランティアスタッフが活動できる限り事業を継続し、地域の教育力の向上と子どもたちの健全育成に努めたい。



---

---

### ③ 自然学校 (担当課：教育課 西はりま天文台公園)

---

---

#### 1 趣旨・目的・経緯等

自然学校は、兵庫県内の小学校5年生を対象に行われる宿泊型の体験学習で、県独自の取り組みとして昭和63年にスタートし、平成3年からは県下すべての公立小学校で実施されている事業である。

学習の場を学校の教室から豊かな自然の中へ移し、児童が自然や人、地域社会とふれあいながら、理解を深めるとともに、さまざまな体験活動を通して、「自分で問題をよりよく解決するための思考力」「主体的に判断・行動し、課題に挑戦する積極性」「他者との協力を通じて、物事を達成する協調性」また、「自然、生命の尊さを知り、感動する心、共に生きる心を育む」など、「生きる力」を育成することを目標に掲げている。

当施設は、開園当初から自然学校拠点施設として、公開天文台を取り入れた自然学校の受け入れを積極的に行っており、4泊5日の学校活動を支援するため、町内外有識者からなる野外活動指導員の確保と自然学校用プログラムの協議・開発、また平成28年度末には、「創作活動室」を増設するなどのグループ用ロッジの大改修を行い、ハード・ソフトの両面において受け入れ体制の整備に注力している。

#### 2 事業内容

(1) 期日：令和4年5月～11月（詳細下表）

(2) 場所：兵庫県立大学西はりま天文台

(3) 講師： ・天文関係プログラム：天文台研究員  
・野外活動プログラム：町内外有識者などによる野外活動指導員

(4) 対象：県内の小学5年生

(5) 参加人数：581人（18校） ※印（複数校連合による参加）

(6) 内容：

・天文台研究員による夜間の天体観測や昼間の星と太陽の観察会

天体を中心とした自然との親しみ・触れあいだけでなく、天文台研究員が実際に使用している設備・機材を使って、児童たちにも分かりやすく楽しいプログラムを実施している。また、公開望遠鏡としては世界最大級の2mなゆた望遠鏡を使用した天体観望会、本物の美しい星空を眺めながらの天然プラネタリウムをはじめ、国立天文台4次元宇宙プロジェクトで開発されたソフトウェア「M i t a k a」を使用しての3Dによる広大な宇宙体験を可能としている。

・野外活動指導員による「基地づくり」「和紙づくり」「木工クラフト」「竹細工」等

野外活動指導員が行う木工工作や自然観察などは、プログラム実施後の検証や改善を随時行うことによって種類や内容の充実度も向上し、学校側から自由に選択できる多数の個別プログラムとして好評を得ている。更に佐用高校や佐用消防署など近隣機関と連携し園外プログラムを用意し、各学校のテーマに合わせて柔軟なプログラム対応を可能としている。

	学 校 名	期 間	児 童 数
1	伊丹市立 荻野小学校	5月17日～5月19日	97
2	相生市立 若狭野小学校 矢野小学校	5月24日～5月28日	19
3	相生市立 相生小学校 那波小学校	5月30日～6月3日	30
4	佐用町立 南光小学校 三日月小学校	6月6日～6月10日	34
5	姫路市立 家島小学校	6月14日～6月18日	8
6	佐用町立 佐用小学校 上月小学校	6月20日～6月24日	86
7	姫路市立 前之庄小学校	9月5日～9月9日	26
8	姫路市立 太市小学校	9月13日～9月17日	13
9	上郡町立 高田小学校	9月27日～9月30日 (9月26日は別施設を利用)	26
10	相生市立 双葉小学校	10月3日～10月7日	90
11	上郡町立 山野里小学校	10月17日～10月21日	33
12	相生市立 中央小学校	10月25日～10月29日	55
13	相生市立 青葉台小学校	10月31日～11月4日	31
14	上郡町立 上郡小学校	11月7日～11月11日	33
合 計		14団体(18校)	581人

### 3 成 果

天文プログラムをはじめとする、佐用町の「地域」「人」「自然」の恵みを活かした多彩で生き生きとしたプログラムは、天文台研究員(3名)や野外活動指導員(36名)のサポートのもと、普通の学校生活では味わえない素晴らしい体験を多くの児童に提供している。



草木染めの様子

### 4 課 題

- (1) 野外活動指導員の高齢化が進んでいるため、今後も新規指導員の獲得と後進育成を図る。
- (2) 平成28年度にグループ用ロッジが改修されたが、その他の施設および設備に傷みや劣化が散見される。より良いプログラム提供のため計画的な修繕に取り組む。

---

---

## ④ English Shower Room (イングリッシュ シャワールーム) (担当課：教育課)

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

夏休みに小学生や中学生が英語に親しみ、興味を持たせるための一環として、日常的に英語に触れることができる場所「イングリッシュシャワールーム」を開設した。

A L Tを講師に、英語を使ったコミュニケーション能力を児童生徒が身につけ、英語に興味をもつための講座とする。

### 2 事業内容

(1) 日時：令和4年7月21日～8月31日

22日間（土日祝は除く）

①午前9時30分～ ②午前10時30分～ ③午後1時30分～ ④午後2時30分～

(2) 場所：佐用町役場本館1階102会議室、または103会議室

(3) 講師：佐用町A L T 2人

(4) 対象：原則として町内小学3年生～中学生（グループの場合5人まで）

(5) 利用者数：個人での申し込みが6人あり、22日間で7時間利用された。

(6) 開設にあたって

「英語の苦手意識をなくすためにハードルを下げ、苦手な人にも足を運んでもらいやすい空間をつくりたい」という考えのもと、イングリッシュシャワールームを開設した。「シャワールーム」には、名前のおり、目から耳から自然に“英語のシャワーを浴びる”仕掛けをつくるという意味を持たせている。

参加者がやってみたいことに応じ、必要なものを各自持参するスタイルをとっており、教材がない場合でもA L Tの自作教材などを使用した。英語に興味を持たせることを基本とし、参加者のレベルに合わせて内容を構築している。

### 3 成果と課題

多くの人に参加できるよう、小中学生に限らず大人も対象とする方法や、出前講座の実施なども検討していく。

---

---

## ⑤ 子ども会の活動 (担当課／団体名：健康福祉課／佐用町子ども会連絡協議会)

---

---

(1) 構成人数：583人（子どものみ）

(2) 構成部会等：町内の小学生。各校区に支部あり

### 1 趣旨・目的・経緯等

学校の垣根を越えて、町内の子どもたちの関わり合いを深め、子どもたちの健全な成長に努める。また、令和4年度は4つの校区子ども会があり、町子ども会連絡協議会との連携を図っている。

## 2 事業内容

---

(1) 佐用町子ども会指導者・育成者研修会

期日：令和4年5月26日（木）

場所：上月体育館

講師：兵庫県ドッジボール協会会員（2名）

内容：ドッジボール審判講習会

参加者数：35人

(2) 佐用町子ども会ドッジボール大会

期日：令和4年6月5日（日）

場所：上月体育館

参加者数：183人

(3) 佐用町子ども会オセロ大会

期日：令和4年8月21日（日）

場所：南光文化センター 大ホール

参加者数：30人

(4) 佐用町子ども会将棋大会

期日：令和4年11月6日（日）

場所：南光文化センター 大ホール

参加者数：14人

(5) 佐用町子ども会駅伝大会

期日：令和4年12月18日（日）

場所：南光保育園周辺河川沿いコース

参加者数：90人

## 3 成果と課題

---

少子化によって会員数が減少し事業への参加者等も年々少なくなっている。今後、会員誰もが参加しやすい行事の開催と保護者の参加を促し、独自運営できるような組織をめざしたい。

---

---

### ⑥ 犯罪のない明るいまちづくり町民のつどい

（担当課／団体名：企画防災課／犯罪のない明るいまちづくり町民のつどい推進委員会）

---

---

#### 1 趣旨・目的・経緯等

---

暴力追放・交通事故防止・青少年健全育成の意識高揚を図る。

## 2 事業内容

---

令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、つどいは中止とし、街頭キャンペーンを実施した。

## 3 成果と課題

---

令和4年度についても新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったが、社会を明るくする運動の強調月間ということもあり、令和4年7月26日（火）午前10時より町内商業施設4か所で、8団体参加のもと街頭キャンペーンを実施した。また、街頭キャンペーンの前には、出発式及びあさぎり賞等表彰式を実施した。

町内商業施設4か所で多くの町民のかたにチラシ等の配布を行い、啓発活動として一定の成果をあげられている。

---

---

## ⑦ 佐用町青少年育成センター(青少年相談室・教育支援センター) (担当課：教育課)

---

---

### 1 施設概要

---

#### (1) 施設所在地

青少年相談室：佐用町佐用2611番地1

教育支援センター：佐用町上月787番地2

#### (2) 開館時間等

青少年相談室：平日の午前8時30分～午後5時

教育支援センター：平日の午前8時30分～12時30分（但し学校の休業日は除く）

### 2 趣旨・目的・経緯等

---

いじめの問題や児童虐待・暴力行為等の児童生徒の問題行動等、学校や家庭が抱える課題が複雑化・多様化している。そうした中、その解決に向け専門的な立場と同時に、中立的な立場から保護者等や学校からの相談に対応するとともに、青少年の健全な育成のための支援を行う。

### 3 事業内容

---

青少年相談室

#### (1) 巡回補導活動

- ・登下校の見回り活動及びあいさつ運動
- ・青色パトロールカーでの巡回活動
- ・列車通学生のマナー指導

#### (2) 相談活動

- ・面接相談
- ・電話相談

#### (3) 環境浄化活動

- ・青少年愛護条例にかかる関係店舗への活動
- ・携帯電話取扱店への活動
- ・古紙回収ボックスの点検

#### (4) 関係機関との連携

- ・子育て支援センターとの連携・情報交換
- ・青少年健全育成の関連会議・研修会及び行事への参加

#### 教育支援センター

##### (1) 不登校児童生徒の支援・指導

- ・不登校児童生徒の個別学習、体験学習
- ・保護者懇談の実施

## 4 成果と課題

---

ネット社会の出現によって相談等は年々複雑で多様化している。今後、関係機関との一層の連携が不可欠である。

子ども・若者育成支援推進法に基づく組織等によって、町全体として生涯にわたる青少年問題・育成を考えていく必要がある。

---

## ⑧ 佐用町地域安全推進協議会「青少年部会」 (担当課：生涯学習課)

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

---

「青少年部会」は、平成28年度に佐用町生活安全条例に基づき組織された「佐用町地域安全推進協議会」内の一部会として組織した。

関係団体の連絡調整、及び青少年を取り巻く環境や健全育成に向けた情報共有などを行いながら、構成団体の連携を深め、町全体での青少年の健全育成をめざす。

### 2 事業内容

---

#### (1) 研修会を実施

期日：令和4年11月26日(土) 午後1時00分～

場所：さよう文化情報センター

内容：『児童虐待の予防』をテーマに研修

講師 一般社団法人 児童虐待防止機構 オレンジCAPO 理事長

島田 妙子 さん

演題 虐待の淵を生き抜いて ～人にも自分にもあたらない社会をめざして～

### 3 成果と課題

---

今回は、児童虐待の予防をテーマに人権まちづくりフェスタさよう2022の講演会を研修会として位置づけ実施した。単に虐待を防止するだけでなく、虐待をしてしまう「大人の心を助ける」必要性を学んだ。今後も、青少年を取り巻く今日的な課題などについて理解を深め、構成団体の新たな活動の一助となるよう努めていく。

## 2 こころ豊かな人づくりの推進 (5)結婚・就労・定住への支援

### ① えん結び支援事業 (担当課：企画防災課)

#### 1 趣旨・目的・経緯等

独身の男女の出会いの場を提供する婚活イベントの開催をはじめ、結婚の相談や出会いの仲介などの婚活をサポートするため「えん結び支援員」を配置し、会員等への出会いの場を提供するなどの活動を行い、希望する男女の婚姻成立をめざす。また、えん結び支援員の業務をサポートしていただく「さよう☆出会ってもらい隊」及び「さよう☆えん結び応援団」も設置する。

#### 2 事業内容

##### (1) 婚活イベント

	日時	場所	コーディネーター	対象	募集 (参加人数)
1	令和4年9月4日(日) 10:30~16:00	桃井ミュージアム	夢こらぼ	25~45歳までの 独身男女	24人 (24人)
2	令和4年12月4日(日) 10:15~16:00	古民家カフェ mOkU×mOkU	夢こらぼ	20代~30代くらい の独身男女	24人 (26人)
3	令和5年3月4日(日) 14:00~17:00	笹ヶ丘荘	チアーズ	25~45歳くらい までの独身男女	24人 (24人)

##### (2) さよう☆出会ってもらい隊

婚活イベントやミーツ！のPRなどをお手伝いしていただくボランティアグループ

意見交換会⇒令和4年度は、11月14日と3月27日に事業実績や成婚の成果、令和4年度の事業計画等の説明・報告を行った。

##### (3) ミーツ！

会員制で、入会いただいた方に婚活イベントのお知らせや婚活のご相談、お見合いのセッティングを行う。

会員数 男性54人、女性21人

#### 3 成果と課題

令和4年度の婚活イベントは、コロナ禍であったものの3回実施できた。どの回も盛況で、1回目はカップル数5組、2回目はカップル数8組、3回目はカップル数7組となった。また佐用町の婚活を経て結婚した夫婦に特産品のトマトジュース&ジャムをプレゼントし、町全体で婚活を応援し、結婚を祝福する雰囲気も年々高まっている。また、ミーツ会員は男性が54人、女性が21人で、会員同士によるお見合いは、11件の成果があった。その後、お付き合いが続いているカップルもある。今年度、会員または町のイベントをきっかけに成婚に至ったカップルは4組あるが、更なる成婚数の増加を図るための支援を考える必要がある。

婚活イベントの開催とともに、さらにミーツ会員、特に女性会員を増やし、お見合いのセッティングなど出会いの場を継続して提供する。今後は成婚に至るためには、どのように支援していくかが課題である。



## 3 暮らしを支える学びの推進

### (1) 超高齢社会に対応した生涯学習の推進

#### ① 佐用町高年大学（再掲）（担当課：生涯学習課）

この事業内容は、13ページで既述した事業内容と重複するため、ここでは省略する。

#### ② 高年クラブ健康ウォーキング（担当課／団体名：高年介護課／高年クラブ）

##### 1 趣旨・目的・経緯等

いくつになっても健康で自立した生活を送るため、自分の体力を把握し、生活の中に適切な運動を取り入れ、健康増進を図る。

##### 2 事業内容

- (1) 対象：佐用町高年クラブ会員
- (2) 募集人数：定員200人  
（参加人数 50人）
- (3) 内容： 会員による集団ウォーキング。  
地域の特色を生かしたウォーキングを企画。  
場合により講師を依頼し、佐用町の名所等の再認識の機会とする。

##### 3 成果と課題

令和4年度は石井地域で実施。石井体育館を出発地として、途中集会所での休憩をはさみ、3キロの道のりを歩いた。休憩の際には、石井地域の名勝やいわれの説明を高年クラブ役員が行い、普段歩くことのない地域に関心を持ちながら歩くことができた。また、石井地域の美しい景観に当日の晴天が相まって、楽しみながら歩く参加者の姿が多く見られた。次年度についても、実施を予定している。駐車場を確保する関係から実施場所が限られるという課題はあるが、参加者にとって魅力的なウォーキング大会となるよう取り組む。

#### ③ いきいき百歳体操（担当課：高年介護課）

##### 1 趣旨・目的・経緯等

自分の体力に合わせて行う筋力運動で、転倒予防や生活習慣の改善になり、介護予防につながる。

参加者同士がふれあい、支え合う「通いの場」となっており、高齢者の心身の健康づくりに役立っている。必要に応じて栄養指導や歯科指導を実施している。

## 2 事業内容

---

- (1) 日時：各グループで週1回実施。開始1年目は初回と3か月後、6か月後、12か月後、それ以降は半年ごとに、体力測定を実施し評価を行う。また、理学療法士による体操指導を初回4回のほか体力測定時に行う。
- (2) 場所：各グループの指定した場所。
- (3) 講師：理学療法士、看護師、保健師、社会福祉士など(無料)
- (4) 対象：町内のおおむね65歳以上で、主治医から軽い体操を許可されている人。
- (5) 募集人数(参加人数)：1グループ10人以上。
- (6) 内容：会場は各グループで準備すること。人数分の椅子、テレビ、DVDデッキなども準備。おもりとDVDは役場から貸し出す。  
体操は、椅子に座って行う準備体操、筋力体操、整理体操。
- (7) 実施グループ：令和4年度末で40グループ801人が登録。

## 3 成果と課題

---

各グループ共に、体力の維持向上ができています。グループ内の結束も強まり、互いに様子を見守り合っている。新型コロナウイルス感染症の影響で休止しているところもあったが、ほぼ全教室が再開している。今後も感染対策をして可能な範囲で継続していただきたい。休止の割合が多くなった際には、自宅でもできるよう佐用チャンネルで放映した。グループによっては人数の減少もみられるため、人数の確保についても今後の課題である。

---

---

## ④ 頭と体の健康教室 (担当課：高年介護課)

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

---

すらすらできる「読み・書き・計算」を行うことが前頭葉の活性化を促し、認知症予防につながる。

町内様々な所から参加されるので、普段会わない人と知り合いになれ、教室が交流の機会になり、それが社会参加につながっている。

また、「いきいき百歳体操」を同時実施することで、心身共に効果的な認知症予防ができる。

### 2 事業内容

---

- (1) 日時：毎週1回実施。  
午前9時30分～10時40分  
令和3年4月13日(火)～令和4年6月14日(火) 42回実施  
※新型コロナウイルスの影響により、令和4年6月まで事業が延期。  
令和4年10月4日(火)～令和5年3月14日(火) 21回実施
- (2) 場所：佐用町生きがいつくりセンター

- (3) スタッフ：参加者2人につき教室サポーター（養成研修を受けた有償ボランティア）1人がお手伝い
- (4) 対象：佐用町内のおおむね65歳以上のかた。
- (5) 募集人数：20人程度
- (6) 内容ほか：専用のテキストを使い、読み・書き・計算や数字盤などで頭のトレーニングを行い、いきいき百歳体操で筋力トレーニングを行う。  
 テキスト代1ヵ月2,000円。（消費税別）  
 教室に3回以上参加した場合は、自習形式の学習方法で実施。

### 3 成果と課題

開始時と終了時に、かなひろいテスト、体力測定を実施し、維持向上が確認できている。参加者のアンケートからは「学習意欲がわき、習慣ができてよかった」「生活にメリハリができた」「友人が増えてよかった」という意見があった。

令和3年度申し込み者30名（参加者のべ995人）

令和4年度申し込み者29名（参加者のべ536人）うち自習10名 のべ175人

今後も、感染対策を徹底しながら佐用町の認知症施策として取り組んでいく。

## 3 暮らしを支える学びの推進

### (2) 身近な生活課題や今日的課題の学習

#### ① 防災リーダー育成支援事業（担当課：企画防災課）

##### 1 趣旨・目的・経緯等

自分の命は自分で守る、地域の安全は地域で守るという「自助」「共助」を基本とした地域防災力の向上のために、検証委員会による「台風第9号災害検証報告書」において、地域の防災リーダーの育成が必要であるとの提言がある。その提言に対応し地域防災力向上のため、本事業を実施する。

##### 2 事業内容

- (1) 行事名 防災リーダー研修
- (2) 対象 自主防災組織のリーダー

内容	日時	場所	講師	研修内容	募集人数 (参加人数)
出前授業	令和4年 4月18日（月） 11:00～12:00	三日月支所	企画防災課防災 対策室職員	三日月連合自治会防災研修	20人

出前授業	令和4年 10月16日(日) 9:00~10:30	三河出張所	企画防災課防災 対策室職員	三河地域づくり協議会防災研修	20人
出前授業	令和5年 2月7日(火) 14:00~15:00	南光地域福祉セン ター	企画防災課防災 対策室職員	佐用郡給食施設協議会防災研修	20人

### 3 成果と課題

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの住民を集めた講演会形式での開催はできなかった。このため、出前授業という形で希望する地域での開催となった。このことから、広報や佐用チャンネルの暮らしのガイドチャンネルなどの媒体を使用し、多くの住民に防災・減災に触れる機会を設けた。

日本全国の降水量は増加傾向にあり、毎年、全国各地での豪雨災害が絶えない。多くの被災地で浸水した範囲が、洪水ハザードマップで危険性が示される範囲と重なることから、ハザードマップの重要性が再認識されている。今後も継続して、自治会内の危険箇所や支援が必要な人などの情報を定期的に共有し、ハザードマップに基づく地域のマップ作りや、避難のタイミングを事前に考えるマイ避難カードの作成、避難行動要支援者の個別避難計画作成などの推進を図っていく。

## ② 行政課題と重点事業を学ぶ (担当課：健康福祉課・高年介護課・生涯学習課)

### 1 趣旨・目的・経緯等

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、広く参加者を募集した規模の大きな講座は開催を見合わせた。まちづくり推進会議において、顧問の小嶋明さんを講師に迎え、公共交通機関存続の重要性についての講演を行った。

### 2 事業内容

#### ■まちづくり推進会議

- (1) 期日：令和4年10月14日(金)  
午後7時30分～
- (2) 場所：佐用町役場 防災会議室
- (3) 内容：(説明) 「鉄道を取り巻く現状について」  
企画防災課長  
(講演) 「鍛冶屋線をなくした町の言伝」  
からくさ塾 主宰 小嶋明さん
- (4) 参加人数：40人



講演会の様子

### 3 成果と課題

---

まちづくり推進会議は、自治会、地域づくり協議会、社会教育・社会体育、文化関係など、幅広い分野で活躍する町民が参画する組織である。今後も引き続き、佐用町の行政課題と取り組み状況などを学び、委員一人ひとりのスキルアップにつなげていきたい。

---

---

#### ② まちづくりセミナー（再掲）（担当課：生涯学習課）

---

---

この事業内容は、24ページで既述した事業内容と重複するため、ここでは省略する。

## 4 スポーツ・レクリエーション活動の振興

### (1) 生きがいづくりと健康寿命をのばす生涯スポーツなどの推進

#### ① スイミングスクール事業（担当課：生涯学習課 佐用町民プール）

##### 1 趣旨・目的・経緯等

子どもから高齢者までの地域住民が、水泳や水中ウォーキング等のスイミングスクールに通うことで、泳力の向上、体力の向上と健康増進を図る。

##### 2 事業内容

3歳児からの幼児コース、小中学生及び一般の方を対象とした各水泳コース、競技大会に参加する選手コースのほか有酸素運動のアクアビクスコース、水中ウォーキングの健康増進コースを、週5日、25回のスイミングスクールを設定し、選手コースを除き、専門の指導員によって年45回実施している。令和5年3月末現在の会員数は368名。

町民プール 2023 水泳記録会 期日：令和5年3月5日（日）実施 参加者：54名

##### 3 成果と課題

中学生以下及び一般コースでは、体力と泳力の向上に効果を上げている。また、年齢や体力に応じて中高年の成人病予防対策や足腰の弱っている高齢者には、水中ウォーキング等の運動によって、老化の進行を遅らせ、介護予防の観点からの効果も期待出来る。年度末には、日ごろの水泳練習の成果を発揮する場として、佐用町民プール水泳記録会を開催している。今後も新型コロナウイルス等感染拡大防止対策をしっかりと行いながら、安全、安心のスイミングスクール事業の展開をしていく。



小学校水泳指導（小学校プールにて）



---

---

## ② 幼児の体育推進 (担当課：生涯学習課)

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

近年、小・中学生の体幹の弱さが問題となっている。幼児期が運動の調整力（敏捷性、平衡性、柔軟性）が最も身につく時期であるため、町内の保育園・幼稚園において園児を対象とした体育（体操等）を実施する。

### 2 事業内容

動物模倣や倒立にチャレンジし、自分の体を自由に動かすことができるよう四肢のコントロールや逆さ感覚の習得を目指す。

### 3 成果と課題

指導者に丁寧に繰り返し教えてもらうことによって、最初は出来なかった子どもたちも徐々に出来るようになってきている。今後は実施回数を増やし、体幹や四肢のコントロール機能の増強を図りたい。



幼児の体育の様子 (令和4年度)

---

---

## ③ 高年クラブ健康ウォーキング(再掲) (担当課／団体名：高年介護課／高年クラブ)

---

---

この事業内容は、43ページで既述した事業内容と重複するため、ここでは省略する。

---

---

## ④ いきいき百歳体操(再掲) (担当課：高年介護課)

---

---

この事業内容は、43ページで既述した事業内容と重複するため、ここでは省略する。

---

---

## ⑤ 頭と体の健康教室(再掲) (担当課：高年介護課)

---

---

この事業内容は、44ページで既述した事業内容と重複するため、ここでは省略する。

---

---

## ⑥ 職場対抗！60日チャレンジウォーク (担当課：健康福祉課)

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

働く世代の運動不足解消のために、5人でチームをつくり60日間の歩数を競う健康づくりグループ活動で生活習慣病を予防する効果を目的とした。

### 2 事業内容

10月から12月までの2か月間、毎日万歩計をつけて生活を行ってもらい、2か月間のチーム合計を競う。上位のチーム及び個人を表彰した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとり個別での表彰とした。

### 3 成果と課題

令和4年度は、30チームの参加があった。チームで歩数を競うことによって、職場の連帯感がうまれるとともに、運動継続への励みになった。

成果として歩く習慣がついたり、早起きの習慣がついたり、職場での会話が増えたりするなど、身体のみならず心の健康づくりにもつながった。さらに幅広い職域からの参加を募るため積極的な周知を行い、働く世代の運動習慣施策として取り組んでいく。



令和4年度 上位チーム

---

---

## ⑦ 佐用町いずみ会活動 (担当課：健康福祉課)

---

---

- (1) 代表者：野村 智里 会長
  - (2) 構成人数：30人
  - (3) 構成部会：あじさい・三日月・なでしこ・3グループ
- 
-



## 1 趣旨・目的・経緯等

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、食生活改善を通じて、町民の健康増進を支援するボランティアグループ。合併後、佐用町いずみ会として再結成され、あじさい・三日月・なでしこの3グループで食育活動を進めている。

本年度は「いずみ会リーダー養成講座」を龍野健康福祉事務所と町の栄養士が講師になって開催し新しい「いずみ会リーダー」9名が誕生、佐用町の食を育む新たな食育リーダーとなった。

## 2 事業内容

- (1) 保育園食育教室：町内保育園年長児親子79組参加

令和4年11月 年間6回

「早寝早起き朝ご飯」の良い生活習慣の普及と、「ご飯と味噌汁」を中心とする地元の野菜を利用した和食献立の普及とバランスよい食事のとりかたをいずみ会員が指導している。

(令和4年度は、コロナ禍にて調理実習はせずにエプロンシアターやペープサート、紙芝居及び味噌玉・バンダナのプレゼントを行った。)

- (2) 中学校食育教室(ティーンズクッキング)：町内4中学2年生生徒対象

(令和4年度は調理実習をせずに、テキスト「一人でもクッキング」を配布した。)

- (3) 小学生夏休み子供クッキング：ふれあいの里三日月 (令和4年度は開催はなし)

夏休みを利用して子供たちに早寝早起き朝ご飯そして食の大切を伝えている。

- (4) ビギナーズクッキング(四季の料理)：ママプラザ親子 令和4年 おせちづくりを開催  
幼児を持つ母親を対象に四季のごはん料理とお汁・野菜を使った料理を教えている。

- (5) フレイル予防料理講習 令和4年11月～令和5年3月

高齢者の介護予防を目的とした栄養教室「ほのぼのクッキング(社協主催)」に協力して調理指導を行っている。

またいきいき百歳体操の会場で、フレイル予防の講話を行っている。

- (6) 骨太クッキング： (令和4年度は開催はなし)

カルシウムをしっかり摂り、骨粗しょう症を予防する教室を開催している。

- (7) 佐用高校家政科料理講習会： 令和4年11月 2回 72名

いずみ会が講師となり、1年生36名に災害時に、普段から食べなれた食品を使うパッククッキングの講習会を、2年生36名に佐用町の郷土料理であるこんにゃく作り講習会を行った。



食育教室の様子



食育教室の様子

### 3 成果と課題

(成果)

保育園食育教室では早寝早起き朝ごはんを推進し、父親母親等にも朝食に対する良い影響が出た。またおばあちゃん世代の会員と幼児を持つ親子が料理を通して交流を持つことができ、双方に良い刺激となった。

ママプラザの若いお母さんたちに、おふくろの味を伝えることで、核家族が進む佐用町において世代を超えた交流と料理の伝承が行うことができた。

企画防災課との連携による防災料理の講習は、高校生自身の防災意識の向上とともにパッククッキングの普及にもつながった。また地域の防災教室で小学生への指導にもつながった。

佐用高校家政科の生徒は、町外出身者が多いが、佐用ならではの郷土料理こんにゃくづくりはいい経験となったと思う。楽しんで参加していた。

今後は会員増をはかりながら、さらにおふくろの味の普及啓発と、減塩の啓発に努めるとともに、介護予防（フレイル対策）にも役立つ料理講習会を開催していく。

(課題)

いずみ会リーダーの養成を行ってはいるが、食育ボランティアとしての活動を継続して行おうという人は少なく、会員の減少と高齢化が課題である。

## 4 スポーツ・レクリエーション活動の振興

### (2) 生涯スポーツなどによる地域活性化の推進

#### ① 兵庫県都市区対抗駅伝競走大会（男子第77回 女子第38回）

(担当課：生涯学習課)

## 1 趣旨・目的・経緯等

---

町内在住者、町出身者で駅伝チームを構成し、大会出場を行っている。

代表チームは、大会に向けての練習会を重ねることで、技術指導や情報交換を行いながら団結力を育むほか、選手のレベルアップや意識改革を図る。

令和4年度は新型コロナウイルスの感染対策を行いながら出場に至った。

## 2 事業内容

---

- (1) 期日：令和5年2月5日(日)
- (2) 場所：加古川河川敷マラソンコース
- (3) 選手団：監督 高見英治  
コーチ 山下美都香 苗村 浩

<男子>

石岡 努(佐用郡陸上競技協会員)、笹谷 拓穂(佐用郡陸上競技協会員)

井上 尚孝(佐用郡陸上競技協会員)、井上 友康(佐用郡陸上競技協会員)

高見 駿治(広島大学4回生)、高谷 隼杜(佐用高校3年生)、垣谷 涼太(佐用高校1年生)

木南 明道(龍野高校1年生)、平田 崇真(佐用中学校2年生)、小林 泰地(佐用中学校1年生)

木南 拓己(上月中学校1年生)、山下 快(上月中学校1年生) 湯浅 宗一郎(上月中学校1年生)

## 3 成果と課題

---

中学生から社会人までの幅広い世代の選手が、全国レベルの本大会に参加することで、郡の陸上競技のレベルアップを図れる。合わせて若い世代の競技者の底上げも図っていきたい。

また、佐用郡陸上競技協会が中心となりながら、学校、行政、地域及び各種団体が連携して選手の育成を図り、佐用郡の陸上競技が再興するための一事業として発展させていきたい。

---

---

## ② 第16回 さようマラソン&ウォーク

(担当課/団体名：生涯学習課/さようマラソン&ウォーク実行委員会)

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

---

ランニングやウォーキングに取り組む町民が、日ごろの成果を発揮する場のほか、多くのボランティアが参加するなど、地域やスタッフ、ランナー等が一体となり運営される佐用町の一大スポーツイベント。その他、地元特産品等の出店ブースによって、町外参加者へ佐用町の魅力をPRしている。

### 2 事業内容

---

- (1) 期日：令和4年12月11日(日)
- (2) 場所：三日月中学校グラウンド周辺コース
- (3) 参加人数：793人

(4) 種目：

- ・ファンラン  
(ウォーキング・ジョギング)・・・1.8 km
- ・ハーフマラソン
- ・10 km
- ・中学生の部・・・3 km
- ・小学生の部・・・1.8 km、1 km



スタート地点の様子

### 3 成果と課題

新型コロナウイルスの感染者数が維持するなか、感染症対策をとりつつ3年ぶりに開催することができた。参加者はこれまでと比較すると大きく減少となったが、新型コロナウイルス収束に向かい参加者が増加することを期待する。

多くの仲間と大会を通じて、ランニングやウォーキングの素晴らしさをさらに感じてもらい、日々の健康づくりに対する意識の向上を期待できる。また町外から訪れる参加者にとっては、佐用の田園風景を楽しみながら走ったり、テント村で地元特産品等の買い物を楽しんでもらったりするなど、佐用町が持つ魅力の一部を提供できた。

## ③ 因幡街道・千種川ロングライド in 佐用 2022 (いなちくロングライド)

(担当課／団体名：商工観光課／佐用町観光協会・因幡街道・千種川ロングライド in 佐用実行委員会)

### 1 趣旨・目的・経緯等

因幡街道・千種川沿いを中心とした、佐用町・美作市・西粟倉村・宍粟市による広域連携イベント。道の駅等の地域特産物の紹介等も含めた、総合的なプロモーションのもと、サイクリストを因幡街道・千種川エリアに呼び込み、交流人口の拡大をめざす。また、イベント終了後も行政・住民が一体となって、誘客に向けた継続的な取組みを展開することで、因幡街道・千種川地域の活性化を図る。

### 2 事業内容

(1) 期日：令和4年11月13日(日)

(2) 場所：生きがいドーム

天気予報が雨となっていたため、開催日の前々日に中止が決定し、急遽代替イベントの開催方法について検討を行い南光生きがいドーム内での代替イベントを開催した。  
代替イベントの内容は、エイドポイントで提供予定であったフードの提供、ゲストライダーとして参加予定であった平野由香里さんのトークショー



南光生きがいドーム  
(代替イベント)



### 3 成果と課題

このイベントは、ちくさ高原から長い下り坂が続いており、雨天の場合は走行が危険となるため急遽イベント中止となったが、代替イベントには参加予定者及びその家族350人が参加。

次回の開催に向け、コース策定にあたり、沿線市町の観光名所を通り、特産品販売施設等をチェックポイントに設定したことや、入浴施設の紹介をしたこと等によって、商業・観光業の活性化に一定の成果があることから、今後も佐用町を中心としたコース沿線地域の魅力を十二分にアピールできるコース策定に取り組み、また、雨天時における代替イベントの内容についても検討を行い雨天時でも町に宿泊者数や買い物客数の増加となる取り組みを検討したい。

## ④ 佐用町スポーツ推進委員会 (担当課：生涯学習課)

### 1 構成

委員長 横山 泰治

副会長 山田 徹

委員(順不同)

岡野 晃、梶生 美鈴、片山 博司、坂根 正幸、反橋 友行、富永 理恵、中山 一久、  
原田 聖秀、平井 隆樹、古本 ルミ、藤本 悦子、藤本 邦明、森下 守、本種 純、  
梶本 健一、太田 佳代子、山本 邦彦

### 2 趣旨・目的・経緯等

佐用町の社会体育を推進するため、熱意と能力を持ち活躍する方々を中心に、スポーツ推進委員を委嘱し、体制整備を図る。

なお、スポーツ推進委員は、社会体育事業の実施に係る連絡調整のほか、住民に対して実技の指導や指導助言を行う。

### 3 事業内容

(1) 町スポーツ推進委員会議開催 (場所：さよう文化情報センター)

第1回 令和4年4月26日(火)

第2回 令和4年7月5日(火)

第3回 令和4年10月4日(火)

第4回 令和4年11月30日(水)

第5回 令和5年1月19日(木)

(2) 町域事業(スポーツレクリエーションの開催)

ア 佐用町ペタンク大会

期日：令和4年5月19日(木)

場所：上月グラウンド

イ 佐用町ソフトバレーボール大会 夏季大会



スポーツ推進委員会議の様子

期日：令和4年6月16日(木)

場所：上月体育館

ウ 親子レクリエーションスポーツ体験会

期日：令和4年7月31日(日)

場所：上月体育館

エ ミニソフトボール大会

期日：令和4年9月4日(日)

場所：南光スポーツ公園

オ 体力テスト

期日：令和4年10月18日(火)

場所：上月体育館

カ 第16回さようマラソン&ウォーク

期日：令和4年12月11日(日)

場所：三日月中グラウンド周辺

キ 佐用町ソフトバレーボール大会 春季大会

期日：令和5年3月9日(木)

場所：上月体育館

ク 佐用町フロアカーリング大会

期日：令和5年3月23日(木)

場所：上月体育館



フロアカーリング大会の様子

(3) 広域事業(西播磨・県スポーツ推進委員研修会等)への参加

ア 西播磨地区スポーツ推進委員連絡協議会

期日：令和4年4月20日(水)

場所：赤穂市民会館

イ 西播磨地区スポーツ推進委員研修会

期日：令和4年6月26日(日)

場所：赤穂市民会館

ウ 千種川水系スポーツ推進委員研修会

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

エ 令和4年度兵庫県スポーツ推進委員中央研究協議会

期日：令和4年10月23日(日)

場所：アイホール(伊丹市立演劇ホール)

オ 令和4年度近畿スポーツ推進委員研究協議会

期日：令和4年12月6日(日)

場所：兵庫県民会館

#### 4 成果と課題

---

地域スポーツ振興のコーディネーターであるスポーツ推進委員とともに、これからの社会体育やレクリエーションスポーツ、生涯スポーツの推進方法等について相談や検討してスポーツに勤しむ町民の増加を図っていききたい。

## ⑤ 佐用町体育協会 (事務局：生涯学習課)

- (1) 代表者名：平井隆樹 会長
- (2) 構成部会：21 協会

佐用町軟式野球協会、佐用町少年野球協会、佐用町少年硬式野球協会、佐用町卓球協会、佐用郡小学生バレーボール連盟、佐用町レディースバレーボール協会、青年バレーボール協会、佐用町バドミントン協会、佐用郡小学生ソフトボール協会、佐用町インドアカ協会、佐用町ゲートボール協会、佐用町グラウンドゴルフ協会、佐用町テニス協会、佐用郡陸上競技協会、佐用町空手道協会、佐用町剣道協会、佐用郡柔道協会、佐用町サッカー協会、佐用町フットサル協会、佐用町バスケットボール協会、佐用町ゴルフ協会

### 1 趣旨・目的・経緯等

各スポーツ種目の加盟協会を取りまとめ、佐用町の社会体育を担う事業を展開している。

各スポーツ種目協会では、競技力向上に向けた活動だけではなく、一人ひとりがスポーツへ親しむことも活動の一つとするとともに、競技を普及させるための大会開催や競技指導も行っている。またスポーツ推進委員とともに、ニュースポーツの普及と推進に取り組み、町民の体力向上と健康増進を図っている。

### 2 事業内容

- (1) 町内各スポーツ団体の強化発展と相互の連絡融和を図る。
- (2) 町内の体育振興の計画、実施に関すること。
- (3) 各種大会の開催
- (4) スポーツの指導者の養成と宣伝・啓発を図る。
- (5) 体育振興に関する県並びに町諸機関との連絡に関すること。
- (6) スポーツの振興に功労のあった者の表彰など、その発展に必要な行事の実施に関すること。
- (7) その他本会の目的達成に必要な事業を行うこと。

#### ア 主な事業

佐用町ベタンク大会	令和4年5月19日(木)	上月グラウンド
佐用町ソフトバレーボール大会	夏季大会 令和4年6月16日(木) 春季大会 令和4年3月9日(木)	上月体育館
レクリエーションスポーツ体験会 (子ども体験くらぶ)	令和4年7月31日(木)	上月体育館
ミニソフトボール大会	令和4年9月4日(日)	南光スポーツ公園
体力テスト	令和4年10月18日(火)	上月体育館
第16回さようマラソン&ウォーク	令和4年12月11日(日)	三日月中グラウンド周辺
佐用町フロアカーリング大会	令和5年3月23日(木)	上月体育館

#### イ 選手派遣事業

男子第77回女子第38回兵庫県 郡市区対抗駅伝競走大会	令和5年2月5日(日)	県立加古川河川敷マラソ ンコース
--------------------------------	-------------	---------------------

#### ウ 共催・協賛事業、その他

第7回 HYOGO パラフットボールフェ スティバル	令和4年5月3日(火・祝)	ダイセル播磨光都サッカ ー場
定住自立圏事業 播戸竜二サッカークリニック	令和5年2月5日(日)	上月グラウンド

## 4 成果と課題

人口の減少に伴い各協会に所属するチーム数や競技者数が減少している。特に少年少女のチームスポーツ団体については、競技の選択の多様性もあり、競技をするうえで必要な人数に満たないチームも増えてきている。その他、小学校閉校にともなうチームの解散なども含め、今後の課題である。今後は、各協会の意向を確認しながら活動を支援するとともに、資質の高いスポーツ指導者の育成に努め、スポーツに対する意識の醸成と生涯スポーツの基盤を築いていきたい。



ペタンク大会の様子

## ⑥ スポーツクラブ21 (事務局：生涯学習課)

- (1) 代表者：岡野 晃 会長
- (2) 構成部会等：全10クラブ(設立当時の小学校区ごとに設置)

### 1 趣旨・目的・経緯等

平成12年から、地域教育力の向上、ライフステージに合わせたスポーツ活動と健康保持増進などの実現を目的としてスポーツクラブを設立。

### 2 事業内容



各クラブが独自に実施している。

- スポーツクラブ 21 さよう(平成12年設立)
- スポーツクラブ 21 えかわ(平成13年設立)
- スポーツクラブ 21 りかん(平成14年設立)
- スポーツクラブ 21 こうづき(平成12年設立)
- スポーツクラブ 21 まくやま(平成13年設立)
- スポーツクラブ 21 くざき(平成14年設立)
- スポーツクラブ 21 みかわ(平成12年設立)
- スポーツクラブ 21 なかやす(平成13年設立)
- スポーツクラブ 21 とくさ(平成14年設立)
- スポーツクラブ 21 みかづき(平成13年設立)

### 3 成果と課題

---

今後も各クラブの特性を生かした運営に努めていただくとともに、地域団体との連携、共催事業の推進を図っていく。今後、クラブ活動において体力向上に向けた取り組みをしていく。また、地域住民を対象とした体力測定イベントを実施し、成人の運動実施率向上の啓発にも取り組んでいく。

## 4 スポーツ・レクリエーション活動の振興

### (3) 社会体育施設の適正な維持と整備

#### ① ふれあい町民プール（あめんぼ）（担当課：生涯学習課）

##### 1 施設概要

- (1) 施設所在地：佐用町佐用 2 8 7 番地
- (2) 施設内容：大プール(2 5 m×6 コース)、小プール(8×5 m)、多目的ホール
- (3) 開館時間等：

使用時間：火曜日～土曜日(午前 1 0 時～午後 8 時 3 0 分)

日曜日(午前 1 0 時～午後 6 時)

休 館 日：月曜日、1 2 月 2 8 日から 1 月 4 日、及び臨時休館日

##### 2 趣旨・目的・経緯等

水泳及び水中ウォーキングを通して、人と人とのふれあいを大切にした組織運営に努め、地域住民の泳力の向上、体力の向上と、健康づくりの拠点としての施設運営をめざす。

また、生涯学習の場として活用し、スイミングスクール事業の推進に努める。



小学校水泳指導（町民プールにて）

#### ② 上月体育館（ホテルドーム）（担当課：生涯学習課）

##### 1 施設概要

- (1) 施設所在地：佐用町上月 1 0 8 0 番地
- (2) 施設内容：競技場、武道場、ミーティングルーム、トレーニングルーム

(3) 開館時間等：

使用時間：午前9時から午後10時

休館日：12月28日から年始1月4日まで、

及び臨時休館日

## 2 趣旨・目的・経緯等

---

町民の健康づくりと体力づくりを通じて交流を深め、連帯意識の高揚と活力あるまちづくりを推進する。

平成27・28年度にトイレ洋式化・LED化等の改修工事を行い、町内はもとより町外からの利用者の増加を図っている。



令和4年度春季ソフトバレーボール大会の様子

## 5 地域文化の継承と創造 (1) 芸術・文化活動の推進

### ① さよう文化祭 (担当課/団体名：生涯学習課/佐用町文化協会/さよう文化祭実行委員会)

#### 1 趣旨・目的・経緯等

「きらめく ふるさと 佐用の文化」をテーマに、日ごろの文化活動の成果を発表する場として、また、地域の住民に広く呼びかけ、地域の交流の場として開催する。世代や活動の分野を越えて創る喜び、表現する喜び、見る喜びを分かち合い、さらなる地域文化の高揚と振興に寄与することをねらいとする。

平成25年度から、芸能発表はさよう文化情報センターの1会場において開催している。また平成27年度からは、作品展示についてもこれまでの佐用・上月・南光・三日月の4会場から、さよう文化情報センターおよび佐用町役場第1庁舎での1会場に集約し、開催した。

平成28年度以降は、開催期を前期・後期に分けて、それぞれに作品展示・芸能発表を行った。

令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小し展示期間も1期にし開催したが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染対策に努めながら、通常開催した。

#### 2 事業内容

##### 【作品展示】

##### (1) 期日

令和4年10月31日(月)～11月3日(木・祝)

##### (2) 場所

さよう文化情報センター

##### (3) 内容

丹精こめて制作された趣味の芸術からその道を極めようとする本格的なものまで、層の厚い展示となった。

【部門】水墨画、俳画、写真、書、生け花、工芸(塑象、陶芸等)、手芸、押絵、押絵、幼保作品  
ほか 合計163作品

##### 【芸能発表】

##### (1) 期日

【芸能発表】令和4年11月3日(木・祝)

【SAYO MUSIC & DANCE STAGE】令和4年10月30日(日)

##### (2) 場所

さよう文化情報センター

##### (3) 内容

芸能発表は15組、SAYO MUSIC & DANCE STAGEは6組が出演した。

3年ぶりの開催となったが、日頃の練習の成果を存分に発揮することができた。



作品展示の様子

## 【文芸大会】

### (1) 期日

令和4年11月2日(水)

### (2) 場所

佐用町役場本庁

### (3) 内容

俳句大会は、372句(うち308句小中学生作品)の投句があり、事前に紙面で選出された高点句(一般の部7句、小中学生の部40句)が当日表彰された。短歌大会は、227首(うち187首小中学生作品)の出詠があり、事前に紙面で選出された高点歌(一般の部6首、小中学生の部32首)など入選歌を決定し、当日表彰した。



文芸大会の様子

## 3 成果と課題

本年度のさよう文化祭は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めながら、作品展示、文芸大会、芸能発表、SAYO MUSIC & DANCE STAGE を通常開催した。

芸能発表、SAYO MUSIC & DANCE STAGE は3年ぶりの開催となり、出演者は日頃の練習の成果を発表することができた。文芸大会は、俳句大会・短歌大会とも紙面で優秀句等を選出し、当日、発表・表彰を行った。

また、令和2年度からさよう文化祭と小中美術展を同時開催しているが、本年度の小中美術展は佐用町保健センターで開催した。

## ② 第41回佐用郡美術展

(担当課：生涯学習課 主催：佐用町、町教育委員会 後援：上郡佐用ロータリークラブ、神戸新聞社 協賛：佐用郡美術協会)

### 1 趣 旨

地域で活動する美術愛好家の研鑽の場として絵画、写真、書道、工芸作品を広く募集し、美術鑑賞の機会と積極的な創作活動の促進を図り、佐用郡の美術文化の発展と向上に寄与することを目的としている。

### 2 経 緯

昭和57年度から、佐用郡中央公民館で佐用郡美術協会を中心に開催された。平成10年度に佐用郡教育委員会社会教育課、平成17年度からは、生涯学習課が担当となり、令和4年度で41回の開催となる

### 3 事業内容

- (1) 会期：令和4年11月10日(木)～13日(日)
- (2) 場所：さよう文化情報センター
- (3) 総出品点数：186点



美術展の様子

## 4 成果と課題

町内外を問わず出品を募り、佐用郡の美術文化の発展向上を目的に開催。新型コロナウイルス令和3年度の出品数の減少が不安視されたが例年と同数程度の出品数があった。来年度についても新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底しながら、事業の実施を行いたい。

### ③ 町文化協会 (担当課：生涯学習課)

- (1) 代表者：四方田 義夫 会長
- (2) 構成人数等：37グループ・355人から構成され、3部会・13部を編成する。

#### 1 趣旨・目的・経緯等

平成17年11月、新佐用町の誕生とともに旧4町からの流れを組む佐用町文化協会が発足し、本部及び4支部を組織した。平成27年度より4支部を廃止し、1つの団体として上記構成のとおり組織再編を行った。加入団体及び会員個人相互の交流を通じて文化活動の普及奨励に努め、会員の資質の向上を図るとともに、佐用町の文化の向上発展に寄与することを目的とする。

令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業の開催を見合わせたが、令和4年度から各種文化活動を再開している。

#### 2 事業内容

##### (1) 定期総会

日時：令和4年4月27日(水)

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議】

##### (2) 第28回 観月の夕べ

日時：令和4年9月9日(金)

場所：さよう文化情報センター

##### (3) 2022さよう文化祭

[作品展示]

期日：令和4年10月31日(月)～11月3日(木・祝)

場所：さよう文化情報センター

[芸能発表]

期日：芸能発表／令和4年11月3日(木・祝)

SAYO MUSIC & DANCE STAGE／令和4年10月30日(日)

場所：さよう文化情報センター



観月の夕べの様子

[文芸大会]

期日：令和4年11月2日(水)

場所：佐用町役場本庁

(4) 会報誌「文化の輪」第18号発行 令和5年2月1日付・全戸配布

(5) 会員研修

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

### 3 成果と課題

---

本年度は、観月の夕べやさよう文化祭等の文化活動を再開することができた。それに伴い、会報誌「文化の輪」にも、観月の夕べやさよう文化祭の様子を掲載することができた。会員の高齢化に伴い会員数及びグループ数の減少が深刻となっており、今後も新規グループ及び新規会員の加入促進につながる手段を講じる必要がある。

---

---

## ④ 佐用郡美術協会 (担当課：生涯学習課)

(1) 代表者：淡路 剛 会長

(2) 構成人数：63人

(3) 構成部会：絵画部、書道部、写真部、工芸部

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

---

本会は、昭和57年5月に設立され、平成10年度から郡中央公民館から佐用郡教育委員会へ、平成17年10月の町合併から生涯学習課へ事務局を移し、美術鑑賞の機会と積極的な創作活動の促進を目的として活動している。

平成14年度から2年ごとに会員の交流促進と文化発信を目的として協会展を開催している。

### 2 事業内容

---

(1) 会員の活動の充実

各種展示活動等を通じて新規会員の加入促進を図る。

(2) 第41回佐用郡美術展【令和4年11月10日(木)～13日(日)】の協賛、運営

運営委員の選出、運営協力及び作品出品

### 3 成果と課題

---

日ごろの各部会での活動や美術協会会員展などを通じて、会員相互の連携を密にして活動の充実を図っている。佐用郡美術展でも入選、入賞する会員も増加しており、今後も佐用町の芸術文化の向上や振興が期待される。



---

---

## ⑤ 手づくり文化スタッフ (担当課：生涯学習課)

(1) 代表者： 淵上 文徳 代表

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

文化活動を通して、様々な人々が集い、交流を深めることによって、地域の財産や資源を見直し、交流の中から地元住民の新たな活動へとつなげることを目的としている。

### 2 事業内容

(1) 藤井快哉ピアノリサイタル

日時：令和4年9月17日(土) 午後2時～

場所：スピカホール

参加者：30人

### 3 成果と課題

町内の地域づくりグループや文化活動グループと連携・協力し町全体の文化活動の充実をめざしていくことが重要となっている。

---

---

## ⑥ 芸術鑑賞会 (担当課：生涯学習課)

### 1 趣旨・目的・経緯等

子どもたちの情操教育と芸術文化への関心を高めるため、町内小学校の5・6年生の児童を対象に、芸術を鑑賞する機会を創出する鑑賞会を実施。



芸術鑑賞の様子

### 2 事業内容

(1) 出演団体：琉球伝統歌舞集団 琉神

(2) 日 時：令和4年12月6日(火) 午前10時30分～

(3) 参加者：町内小学生5・6年生 214人

### 3 成果と課題

児童・生徒にとって、舞台芸術にふれる貴重な機会となっている。

今後も継続して、伝統芸能や特殊楽器など、芸術を鑑賞する機会を設け、児童の健全育成に努める。



## 5 地域文化の継承と創造 (2) 伝統文化活動の保存と継承

### ① 文化財保護（佐用町文化財保護審議委員会）（担当課：教育課）

#### 1 趣旨・目的・経緯等

佐用町文化財保護条例に基づき、教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し答申する。また、これらの事項について教育委員会に建議する。

#### 2 事業内容

	日時	場所	内容
第1回	令和4年12月8日(木) 午後1時30分～4時00分	佐用町役場 301会議室	指定物件の現状変更申請に伴う現地視察、 審議
第2回	令和5年3月23日(木) 午後1時30分～3時30分	佐用町役場 301会議室	指定文化財関係の動向、令和5年度の文化 財関係事業の報告

#### 3 成果と課題

町指定文化財「素盞鳴神社の大アベマキ」が枯れているとの報告があり、現地確認をしたところ主枝の何本かの葉が枯れており幹からは細かい木屑が出ていた。樹木医の診断によりカシノナガキクイムシに虫害と判断された。ただし、完全に枯れてしまうというのではなく直ちに倒木する可能性は低いため経過観察することとなった。所有者から枯枝落下を危惧して枯枝切除の申請があり、審議、答申を行い、この現状変更については許可された。切除作業については令和5年度に行われる予定である。



「素盞鳴神社の大アベマキ」視察

令和2年度から始まった国指定文化財「利神城跡」の応急対策工事は最終年度となり、主に御殿屋敷地区の石垣、斜面の保護措置を行い、3ヶ年にわたる工事を予定通り完了した。令和5年度からは整備基本計画策定にとりかかる予定である。

県指定文化財「光福寺の大イトザクラ」は毎年多くの花をつけ多くの観覧者が訪れるが、樹齢約300年の老木でもあり主幹の空洞化、腐朽枝が認められる。所有者が枝の落下や倒木を危惧され支柱設置工事を実施された。



「光福寺の大イトザクラ」支柱設置

上月城跡は旧上月町時代に整備が行われ、近年の山城ブームもあり、利神城跡とともに御城印を発行するなど町内の著名な城跡の一つである。令和4年度からプレ調査事業として、上月城跡に関わる予察調査にとりかかり、まずは文献史料から調査の見通今後の調査方針等について専門家の意見を得た。

## ② 地域活動（佐用郡地域史研究会）（担当課／団体名：教育課／佐用郡地域史研究会）

### 1 趣旨・目的・経緯等

佐用郡地域史研究会は平成7年に発足し、自らが地域の歴史文化を調査研究する会である。令和4年度会員32人(休会など4人含む)。講演会、地域踏査会の開催ほか、研究紀要の発刊などを行っている。

活動の主な柱のひとつに地域資料の保全をあげ、古文書部会を立ち上げて、教育委員会事務局とともに整理と調査などの作業を協働で続けている。また、乃井野集落の襖下張り調査講習会を開催し、地域とともに地域資料の保全を行う活動へ広がっている。

### 2 事業内容

令和2年から続く新型コロナウイルスの感染の波は続いていたが、感染対策をしながらできる限り通常の活動に戻ろうと、対面での総会を開催、講演会、古文書講座、古文書部会の活動も通常に近い状態で開催することができた。令和3年度に乃井野集落で襖の下張り調査の実習を行ったが、令和4度は古文書部会と乃井野集落の有志により下張り剥がしの作業を継続的に実施した。

行事名	日時	場所	講師等	内容	対象 (参加人数)
役員会	令和4年5月16日(月) 午後2時30分～4時00分	役場301会議室	—	総会・講演会の開催について	役員
総会	令和4年6月18日(土) 午後3時40分～4時30分	さよう文化情報センター	—	事業報告、事業計画等	会員
講演会	令和4年6月18日(土) 午後1時30分～3時30分	さよう文化情報センター	大平茂さん (県立考古博物館名誉学芸員)	飛鳥・大官大寺出土の荷札木簡「讃用郡驛里鐵十連」から見えるもの	会員
講演会	令和5年2月18日(土) 午後1時30分～3時40分	さよう文化情報センター	今井修平さん (神戸女子大学名誉教授)	近世西播磨の地域的特質—山崎・平福・乃井野を中心に—	会員 一般
古文書講座	毎月第3金曜日 午後1時30分～3時00分	上月文化会館	竹本敬市さん (会長)	古文書解読のための講座	会員のうち申込者
古文書部会	毎月第2、第4土曜日 午後1時30分～4時30分	上月文化会館	—	山論に関する文書解読と研究	部会員
襖下張り調査	古文書部会開催日を一部割り振り	乃井野倶楽部	—	古文書部会と乃井野集落有志による襖下張り解体調査	部会員及び乃井野歴史部会

### 3 成果と課題

乃井野集落での下張り剥がし調査は、地域と共に行う活動になっている。地域の歴史文化の再発見、歴史遺産を活かした地域づくりの一環になっている。

会員数は横ばいだが新規会員はわずかで、地域住民による歴史文化の継承が課題となっている。

### ③ 佐用町文化財発掘調査・普及活動概要

(担当課／教育課)

#### 1 趣旨・目的・経緯等

- (1) 埋蔵文化財調査：文化財保護法に伴う書類の受付事務、並びに発掘調査等に関する協議・折衝・調査。
- (2) 普及活動概要：各種依頼による、解説・講演・資料貸出・資料閲覧等。
- (3) 指定文化財：文化財の指定および解除、ならびに保存と活用

#### 2 事業内容

- (1) 埋蔵文化財：照会 66 件、うち分布調査 0 件、工事立会 3 件、試掘・確認調査 5 件。
- (2) 主要な普及活動概要：講演 4 件、解説 5 件、史料利用 3 件、貸出 2 件、資料提供 2 件、ほか。
- (3) 史跡の保存と活用：史跡利神城跡重要文化財等防災施設整備工事(令和 2 年度から令和 4 年度)  
※国庫補助事業として実施

(解説や講演、貸出、執筆の一部)

	行事名等	期 日	場 所	派遣職員	対 象 (参加人数)	内 容
1	ゆうゆう学園郷土探訪クラブ	令和 4 年 5 月 13 日(金)	西播磨文化会館	藤木	一般	「三日月の歴史と伝説」
2	佐用町教育研修所	令和 4 年 8 月 24 日(木)	地域探訪研修 (円応寺)	藤木	小中学校 教員	円応寺跡、後醍醐天皇碑、 円応寺古墳群等解説
3	久崎地域づくり協議会 地域講座	令和 4 年 11 月 18 日(金)	久崎地区センタ ー集会所	中村	一般	久崎地域の山城、町内の山 城に関して解説。
4	令和 4 年度生活文化講 座講師	令和 5 年 1 月 14 日(金)	上郡町生涯学習 支援センター	中村	一般	上郡町からの依頼、「佐用 町の城」と題する講演
5	播磨科学公園都市圏域 定住自立圏連携事業	令和 4 年 11 月 2 日(水) から 令和 5 年 2 月 26 日(日)	佐用町立図書館 ほか	藤木	一般	文化財分野の連携事業とし て巡回展「一品展示」を実施 (2 年目)佐用町は横坂丘陵 遺跡出土の蔵骨器を出品

#### 3 成果と課題

埋蔵文化財調査は法律と県の指導に従い行うものである。

普及啓発活動について、近年は依頼によりそのつど行うことが多い。

指定文化財では平成 29 年度に利神城跡が国指定史跡となり、保存活用計画が策定されている。そのほか保存と活用に向けて各種取り組みを行っている。このうち史跡利神城跡重要文化財等防災施設整備事業は令和 4 年度で終了した。

---

#### ④ 皆田和紙保存会 (担当課：教育課／上月支所)

- (1) 代表者：山本 幹雄 会長
  - (2) 活動拠点：佐用町上月373(紙すき文化伝承館)
  - (3) 構成人数：16人
- 

### 1 趣旨・目的・経緯等

平成17年に皆田和紙の保存・継承を目的として発足した。上月歴史資料館を拠点として、その復元に取り組んでいたが、平成23年には、資料館に隣接して紙すき文化伝承館が建設された事に伴い、以後は伝承館を拠点にして活動している。県や町の各種イベントにも参加し、紙すき体験を通してその魅力の発信に努めている。佐用町文化協会に所属。平成26年度には兵庫県伝統的工芸品に指定されている。令和4年度からは上月歴史資料館(皆田和紙すき文化伝承館)の指定管理者。

### 2 事業内容

和紙の生産(紙漉)は主に冬期に行っているが、原料の作成や自主事業など、活動自体は一年を通して行っている。主要な自主事業としては、佐用町高年大学修了証書の作成のほか、県立佐用高校との連携事業、行燈祭り(8月・12月)などがある。そのほか町・県のイベントへの出店や、依頼に応じて紙すき体験などを実施している。近年はあらたに石井地区のミツマタ部会との間で人的・技術的交流を行っている。今年度は自主事業によるイベントの開催のほか、西播磨ツーリズム振興協議会より、皆田和紙を使った御城印が販売されている。

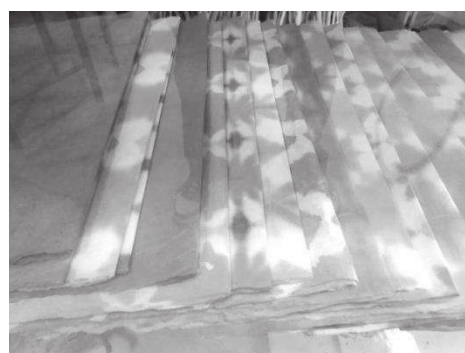
### 3 成果と課題

各種の取り組みにより、新聞その他のメディアにも取り上げられることもあり、皆田和紙および佐用町の知名度の向上に一役買っているが、会員は高齢化しており、体力的に厳しい作業もあることが問題となっている。後世への伝承には機器による一部作業自動化や、新規会員の獲得も必要である。

また指定管理者となったことから、より一層の地域資産の活用による効率的な施設運用が期待される。



皆田和紙の作成



皆田和紙の作品例

## 5 地域文化の継承と創造 (3) 自然を生かした郷土づくりの推進

### ① 姫新線利用促進事業 (主管課/団体名：企画防災課/姫新線利用促進・活性化同盟会)

#### 1 趣旨・目的・経緯等

重要な「地域の財産」である姫新線は、自動車を運転できない児童・生徒、高齢者、障がい者はもとより、沿線企業等の通勤者にとって、なくてはならない公共交通機関である。

「地域の財産」である姫新線を存続し、利便性を向上していくために、沿線市町をはじめ県と一体となった利用促進の取り組みを行っている。

#### 2 事業内容

##### (1) 姫新線利用促進事業「ひまわり畑と佐用町を巡るツアー」

日時：令和4年7月22日(金)

参加人数：12人

内容：播磨徳久駅からひまわり畑、「古民家ダイニング 道満」、西はりま天文台公園、道の駅「宿場町ひらふく」等の町内の名所を巡る

##### (2) 姫新線利用促進事業「栗ひろい&宿場町散策ツアー」

日時：令和4年10月1日(土)

参加人数：51人

内容：佐用町役場から豊福栗園での栗ひろい及び宿場町ひらふく町並み散策

##### (3) 姫新線利用促進事業「佐用町大収穫祭姫新線利用者特典配布」

日時：令和4年11月3日(木・祝)

内容：姫新線を利用して佐用町大収穫祭へ来訪された方に、利用特典として「佐用まなび舎農園」のトマトを配布

#### 3 成果と課題

当該事業は、姫新線利用促進・活性化同盟会主催事業として、姫新線の利用促進及びマイレール意識の醸成のため実施している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業規模を縮小し、一事業のみの実施となったが、令和4年度は感染症拡大に収まりが見られたため、複数事業を実施した。

今後は、イベント開催日だけでなく継続的な利用に繋がるように、日常的に利用してもらえる利用促進策を検討していく必要がある。



---

---

## ② 佐用ハイキングクラブ (担当課：企画防災課)

- (1) 代表者：会長：村上 英雄
  - (2) 構成人数：25人
- 
- 

### 1 趣旨・目的・経緯等

「佐用ハイキング 34コース」(発行：神戸新聞総合出版センター)の編著者である「佐用ハイキングコース選定の会」のメンバーを中心に、平成27年12月発足。町内のハイキングコースを中心に歩き、広くハイカーと交歓すること、地域の魅力を発信すること等を目的として活動している。

### 2 事業内容

主に「佐用ハイキング 34コース」に掲載されているコースを歩くイベントの実施を活動の一つとしており、例年3～4回のハイキングイベントを開催していたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により1回のみの実施となった。一方、訪れるハイカーの方々がより安全で快適にハイキングを楽しんでいただけるよう、コースの確認・整備作業については、月2回程度継続して実施している。

### 3 成果と課題

近年は山城ブームにより、「佐用ハイキング34コース」の中でも山城コースに上るハイカーが増加してきている。今後は、山城コースを中心とした定期的なイベント開催と、コース整備を継続して行い、交流人口の増加をめざす。また、会員を広く募集し、活動の充実と自立を図る。

---

---

## ③ 佐用町南光ひまわり祭り (主管課/団体名：商工観光課・農林振興課/佐用町南光ひまわり祭り実行委員会)

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

約79万本のひまわりを町の観光資源として広くPRすることで、地域の活性化はもとより、都市住民との交流を図る。

### 2 事業内容

- (1) 日時：令和4年7月14日(金)～7月31日(日)
- (2) 場所：南光スポーツ公園周辺
- (3) 参加人数：42,116人  
(ひまわり畑全体では約5万人)
- (4) 内容：新型コロナウイルス感染防止対策により  
物産販売テント村等のイベントすべて中止。  
世界のひまわり園(東徳久地区のみ)  
ひまわり迷路(東徳久地区のみ)



一面に咲くひまわり

### 3 成果と課題

例年では地域の活性化や経済性には大きく貢献しているが、令和2年度～4年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開園を見送らざるを得なかった地区もあり、ひまわり祭り各種イベントを中止せざるを得なかった。また栽培者が高齢化しており、後継者問題や栽培農地の減少が懸念される。今後は物産販売テント村やミニイベントを開催するなど、新型コロナウイルス感染拡大前と同様の形に戻していく。

---

---

## ④ 佐用町大収穫祭 (主管課/団体名：佐用町・佐用町観光協会・佐用町商工会)

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

豊かな自然と四季折々の恵みに育まれて実ったおいしい農作物の収穫を町民みんなで祝い、地域の賑わいに寄与する。

### 2 事業内容

(1) 日時：令和4年11月3日(木・祝)

(2) 場所：佐用商店街

参加人数：約2,000人

内容：農産・特産物、飲食等の販売

キッチンカーの出店

佐用対津山ホルモンうどん対決

キャラクターショー

全国有名駅弁即売会



収穫祭（令和4年度）のようす

### 3 成果と課題

収穫された農作物の販売はもとより、それらを利用した加工食品を堪能できる場となっている。今後も、多くの方に来場してもらうことのできるイベント内容の模索が続いている。

---

---

## ⑤ 農業振興会における各部会研修

---

---

(主管課/団体名：農林振興課/佐用町農業振興会に所属する各部会[現在20部会が活動中])

### 1 趣旨・目的・経緯等

特産物や特産品について、よりよい生産・加工・販売を目指し、各部会において栽培研修や先進地研修が実施されている。

### 2 事業内容

- (1) 日時：随時開催
- (2) 場所：作物栽培先進地や、各地の道の駅・直売所、また町内の現地ほ場など。
- (3) 対象：各部会会員
- (4) 行事名：視察研修の実施
- (5) 内容：
  - ・先進地に出向き、栽培方法や産地化の取り組みや特産品の開発について、また商品のPR方法など販促活動について学ぶ研修を実施している。
  - ・各直売所出荷部会では、適切な農薬施用について年数回講習を行う。

### 3 成果と課題

---

各生産者等の部会活動によって積極的な研修が実施されている。恒例的な研修にとどまらず、研修が会員の研鑽に生かせるよう取り組んでいくことや、部会が抱える会員の減少や高齢化にどう取り組んでいくのかが課題となっている。

---

---

## ⑥ 森林作業安全講習会（主管課／団体名：農林振興課・佐用郡森林組合と共催）

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

---

兵庫県及び佐用町が推進する“災害に強いまちづくり”の一環として、里山整備を安全に行うための初心者向けの森林作業安全講習会を開催した。

### 2 事業内容

---

- (1) 期日：令和4年12月12日(月)
- (2) 場所：スピカホール地内
- (3) 講師：森木 俊雄さん(森木林業)
- (4) 演題：「森林作業を安全に行うために」
- (5) 対象：森林ボランティア及び一般住民
- (6) 参加人数：12人
- (7) 内容：
  - ・森林作業を行うための安全な装備
  - ・チェーンソーの使い方
  - ・巨木の伐採方法



熱心に講習を受ける参加者の皆さん

### 3 成果と課題

---

専門家による安全かつ正しい林業機械の使い方講習やメンテナンス指導や伐採実技が行われ、森林作業に対する安全意識が高まった。今後はより専門的な研修プログラムを加え、経験に応じたステップアップ式の研修体系を進める必要がある。



---

## ⑦ さよう農の匠養成塾（主管課／：農林振興課）

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

高齢化による離農が進むなか、町内に耕作地を持つ者を対象に、野菜と果樹の基本的な栽培技術を習得し、生産者の掘り起こし・育成を目的とした、農業技術研修「さよう農の匠」養成塾を開催

### 2 事業内容

受講内容は野菜、果樹の2コースを設置し、令和3年から令和5年の3年1期として、座学と実習で栽培方法を学ぶ。

#### 【野菜コース】

- ・開催：令和3年4月～令和6年3月 計72回
- ・作物：トマト、キュウリ、キャベツ、白菜、大根、ホウレンソウ、ニンジン、ナスなど
- ・場所：味わいの里三日月隣接地(乃井野地内)
- ・参加者：10人
- ・講師：高島 昭さん(元光都農業改良普及センター所長)

#### 【果樹コース】

- ・開催：令和3年4月～令和6年3月 計72回
- ・作物：ナシ、モモ、柿、栗
- ・場所：味わいの里三日月隣接地(乃井野地内)、井瀬農園(中島地内)
  
- ・参加者：19人
- ・講師：井瀬 俊一さん(元・兵庫県いなみ野学園教授)

### 3 成果と課題

同塾は令和3年度に開講し、1年目は野菜の栽培技術の習得と、果樹接ぎ木技能を習得した受講生を「接ぎ木技能士」に認定するなど、培った栽培技術を一般農家に伝える取り組みに力を入れている。2年目は野菜の収穫・出荷技術の習得、果樹の剪定技術の習得に力を入れている。令和5年度からは、卒業後に受講者が農作物を出荷できるように、より実践的な技術の習得に取り組む予定である。



受講の様子

## 5 地域文化の継承と創造

### (4) 地域資源を生かした誇れるまちづくりの推進

#### ① 13の地域づくり協議会（担当課：企画防災課）

##### 1 趣旨・目的・経緯等

地域コミュニティ活動を強化し、地域づくりの推進を図るため、協働のまちづくりを推進する新たな地域自治を推進する。概ね旧小学校区単位で組織し、複数の集落によって構成した地域づくり協議会を平成18年4月に設立し、その実践を行っている。これにより過疎化・少子高齢化による機能低下が生じる集落を地域全体で補完するとともに、多様な人がかかわる地域づくりを可能にすることにより、持続可能な地域づくりを推進している。

##### 2 事業内容

平成25年度から、地域づくり協議会が自主的、主体的な地域自治組織へと発展し、自治会への支援と連携をより深め、地域でできることは地域で行えるよう地域協働の基盤の確立と地域内分権を推進するため、地域の自由裁量で用途を選択できる地域自治包括交付金制度を導入した。各地域づくり協議会は地域の特性に応じて若干の相違があるものの、地域の課題を見つめ、10年後、20年後のビジョンを明らかにした地域まちづくり計画を策定し、地域の課題解決の取り組みや地域住民のふれあい事業を実施してきた。各地域づくり協議会相互の連携を図り、情報交換を行うため、地域づくりセンター長全体会議を毎月開催している。

しかしながら、地域づくり協議会発足から15年が経過し、組織の硬直化や事業のマンネリ化、後継者不足や住民参画意欲の低下、また、行政の協働のまちづくりに対する認識や意識の希薄化など、さまざまな課題が生じてきた。そのため、平成30年度から地域・行政の双方がこれまでの取り組みを振り返り、今後も継続していける組織をめざすための振り返り事業について取り組んできた。あり方検討委員会を設置し、協議・検討を行い、地域づくり協議会の「あり方再構築」についての答申をいただいた。

令和元年度には、先行的モデル4地区において、これまでの活動や組織体制の見直しを行うための取り組み「みんなの地域づくり協議会 活力向上プロジェクト」を開始した。令和2年度は第2期4地区、令和3年度は第3期5地区において取り組みを開始し、みんな活協議を行い、組織体制や地域まちづくり計画の見直し、住民アンケートの実施、地域の課題解決にむけ福祉分野での取り組みの検討や地域まちづくり計画の見直しなどが行われてきた。また、行政においても、主体的な取り組みを行うことを目的に、各種職員研修の開催や地域づくり協議会に対する出前講座の実施、部署間連携の推進などを進めてきた。また、少しずつではあるが、見直しを新たな事業の実践に繋げる地域づくり協議会も出てきた。

令和4年度においては、各地区での取り組みに対する伴走支援はもちろんのこと、「ポストみんな活」にむけた新たな方向性の検討を行った。地域づくりアドバイザーとの合宿形式の協議を経て、新

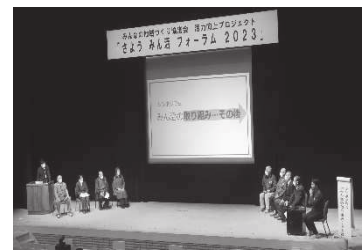
たな方向性「縮充(しゅくじゅう)」を導き出すとともに、職員研修等を行うことにより、行政においても部署間の垣根を越えて、持続可能な地域づくりについて考えることができた。

今後は、新たな方向性「縮充」の実現にむけて、新たな協働のまちづくりを進めていきたい。

[さようみん活フォーラム 2023]

■令和5年2月12日(日) 午後1時30分～午後4時

- ・5地区の取り組み発表(佐用・石井・幕山・三河・三日月)
- ・職員「新たな協働のまちづくりを考えるWT研修」の報告
- ・シンポジウム「みん活の取り組み…その後」
- ・島根大学サライトポラトリー「さよラボ」共同研究発表



みん活フォーラムの様子

## ② 佐用地域づくり協議会 (担当課：企画防災課)

- (1) 代表者等：水鳥行敏 会長、依田吉充 センター長
- (2) 活動拠点：佐用町佐用469番地1 佐用地域づくりセンター(町立教育集会所)
- (3) 対象：佐用地区住民3,507人
- (4) 構成部会：登録活動団体 6団体

### 1 趣旨・目的・経緯等

住民主体の新しい規約にのっとり、自治会の垣根を越えた形で、安心・安全で元気な地域をめざす活動を展開している。「できるときに できることを 誰でもみんなが ポチポチに!!」を合言葉に、新たな住民の楽しみの発掘、登録団体等を応援する活動を行っている。

### 2 事業内容

従来からの事業と各登録団体の活動の支援を継続させるとともに、コロナ禍で様々な交流事業等が行えない中、地域づくり協議会の見直しプロジェクトを進めてきた。今後、地域づくり協議会が目指す3つの方向性として「やりたい人の活動を応援する協議会」「自治会を支援していく協議会」「地域のベースを支える協議会」を掲げている。

#### 【各登録団体の活動】

- ・メダカの学校
- ・ふれあい喫茶フォークソングを楽しむ会
- ・ポールウォークで歩き隊
- ・佐用酔踏会
- ・グラウンドゴルフ同好会
- ・薬楽会

#### 【主な事業】

- ・大漁鯉のぼり
- ・ゴミ0作戦啓発事業
- ・廃油回収
- ・環境整備(美化活動)
- ・佐用駅前イルミネーションの実施



まちづくりスタッフ会議の様子

- ・センターだより発行
- ・自治会ふれあい活動助成
- ・見直しプロジェクト(自治会長会での協議、まちづくりスタッフ会議など)

### 3 成果と課題

自治会数・人口が多い地域であるため、一体感の醸成や多くの方に参加してもらうことのできる活動の方法や内容の模索が続いている。

地域づくり協議会見直しプロジェクトにおいて導き出した3つの方向性を実現するべく、今後は、まちづくりスタッフ等を中心とした企画部会を構成し、今後の取り組みを検討していく。

### ③ 長谷地域づくり協議会 (担当課：企画防災課)

- (1) 代表者等：山下富雄 会長、加藤政男 センター長
- (2) 活動拠点：佐用町口長谷580番地 長谷地域交流センター内
- (3) 対象：長谷地区住民726人
- (4) 構成部会等：企画委員会、事業部会(ふれあい部会、福祉部会)、地域創生団体、サポーター

#### 1 趣旨・目的・経緯等

高齢化社会及び生涯学習社会を迎え、地域社会における住民相互の交流と住民主体の文化、学習、健康増進、福祉活動を促進し、併せて、環境の保持・改善、防災体制の確立、次世代育成による地域活性化のための支援活動などを実施することによる地域の問題解決、住民が連帯して長谷地域のまちづくりに寄与する。

#### 2 事業内容

「多くの人たちが気軽に集まり、お互いが協力して楽しみながら活動できる場づくり」をめざして協議会組織の見直しを図り、ふれあい部会および福祉部会の2部会を中心に、地域に残る文化や伝統行事の継承、趣味やスポーツ、レクリエーションなどの活動を展開している。また、空き家を活用した民泊施設ゴトンボ荘をはじめ、貸農園やキウイフルーツ園の運営等をゴトンボの会を中心に継続的に展開している。

##### 【主な事業】

- ・利神ふれあいキャンプ
- ・長谷おしゃべりサロン
- ・納涼ふるさとまつり【中止】
- ・ラジオ体操会&クイズ学習会
- ・ふれあい感謝祭
- ・ウォーキング&防災講習
- 【レクスポ大会の代わりに実施】
- ・長谷助け合い隊



長谷助け合い隊 作業のようす



### 3 成果と課題

令和4年度は、福祉事業として新たに『長谷助け合い隊』が発足し、地域住民の困りごとを地域住民の手で解消する取り組みが開始された。令和2年度から取り組んでいる「みんな活」で「福祉等に関するアンケート」を実施し、地域住民の抱える困りごとや地域の実状・課題を把握し、それらへの対策として本事業を立ち上げており、「みんな活」での取り組みが実を結んだものとなっている。

今後も地域住民の高齢化が進む中、地域づくり協議会や『長谷助け合い隊』等の事業の継続的かつ効果的な運営のためにも、事業を担う人材の確保が課題である。

#### ④ 平福地域づくり協議会（担当課：企画防災課）

- (1) 代表者等：中野直樹 会長、大嶋啓靖 センター長
- (2) 活動拠点：佐用町平福138番地8 佐用町立地域福祉センター内
- (3) 対象：平福地区住民544人

#### 1 趣旨・目的・経緯等

地域住民の交流と地域の文化、教育、健康、福祉、産業等の活性化を促進するとともに、環境の保持、防災体制の確立、次世代育成、地域課題の解決に向けた取り組みを実践しながら、平福地域の地域づくりに寄与する。

#### 2 事業内容

これまで実施してきた地域づくり協議会が主体となる事業に加え、各構成団体が個別に実施している取組に対して積極的に支援することにより、それぞれの活動がより活発になり、これまで以上に平福地域が活性化することをめざしている。さらに、令和元年度からはこれまでの活動や組織体制などについて検討するため、みんなの地域づくり協議会活力向上プロジェクト(通称みんな活)に取り組んでいる。

##### 【みんな活】

- ・令和4年度みんな活協議  
急遽、センター長が交代したことにより、みんな活協議はストップしている。  
しかし、自治会活動を補佐的に支援することで地域づくりの土台作りを進めている。

##### 【令和4年度の主な事業】

- ・#平福フォトコン
- ・史跡のライトアップ
- ・新春歩こう会&防災講習会
- ・利神ふれあいキャンプ

以下、中止となった事業

- ・平福納涼花火大会



史跡のライトアップ

- ・しめ縄づくり

※協議会の活動はセンターだよりや協議会のHP「ひらふく net」(<https://hirafuku.net/>)によって情報発信している。

### 3 成果と課題

---

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響があったものの、感染防止対策がとれるものは実施することが出来た。また、センター長の急遽交代があったこともあり、みんなの取り組みは止まっているが、自治会活動の補佐的な活動をすることで地域づくりの土台作りを少しずつ進めている。

---

---

#### ⑤ 石井地域づくり協議会（担当課：企画防災課）

- (1) 代表者等：久保辰夫 会長、平井良 センター長
  - (2) 活動拠点：佐用町上石井755番地2 石井体育館内
  - (3) 対象：石井地区住民509人
  - (4) 構成部会：広報委員会、地域づくり部、ふれあい部
- 
- 

#### 1 趣旨・目的・経緯等

---

「自分たちの地域は自分たちで創り育てていく」ことを基本に地域の持つ教育力、防災力及び福祉力などを発揮し、住民が自ら考え、自ら行う地域づくりを目的に一生涯の健康・福祉・地域の環境整備・防災体制の確立、次世代育成による地域活性化・地域づくりのために、住民が連携して、相互扶助の精神が生きる地域コミュニティを大切にしたい石井地域づくりの推進に寄与する。

#### 2 事業内容

---

まちづくりの目標を「ゆうあいの郷里(さと)づくり」とし、住民が笑顔で夢を持って豊かに暮らせる「郷里(さと)」づくりに取り組んでいる。地域における多くの課題を基本テーマとして、自分たちの地域は自分たちで創り育てていくことを基本に、10年後を見据えたまちづくりをめざし、事業を展開している。

##### 【主な事業】

- ・利神ふれあいキャンプ
- ・ふれあい農園
- ・しめ縄づくり講習会
- ・ウォーキング大会
- ・ふれあい体育祭【中止】
- ・納涼まつり【中止】
- ・三世代交流【中止】
- ・紙すき体験教室【中止】



紙すき体験のようす

### 3 成果と課題

---

今年度は、感染症対策を取ったうえで実施できる活動を取り行った。

昨年度からみんな活の取り組みが始まり、地域の困り事や地域づくり協議会への意見を募る為にアンケートを実施。アンケートの結果報告会や意見交換会を実施し、これからの石井に見合った活動を模索していく。また、社会福祉協議会を招き、福祉の観点や地域外からの観点を取り入れることで広い視野を持って取り組んでいる。

---

## ⑥ 海内地域づくり協議会（担当課：企画防災課）

- (1) 代表者等：井上建治 会長、柴田義美 センター長
  - (2) 活動拠点：佐用町海内63番地 海内地域づくりセンター(ふれあいの郷みうち若杉館)
  - (3) 対象：海内地区住民173人
- 

### 1 趣旨・目的・経緯等

「“おひとりさま”も安心して暮らせる海内の郷づくり」をテーマにまちづくり計画に基づき、誰もが安全・安心に、楽しく、豊かに、誇りを持って暮らせる地域づくりをめざしている。

### 2 事業内容

海内と桑野という2つの自治会によって組織された町内でもっとも小さい協議会で、住民の安全・安心な暮らしづくりと楽しみの創造のための活動を展開している。

#### 【主な事業】

- ・奉仕作業
- ・利神ふれあいキャンプ
- ・いきいき100歳体操(毎週水曜日)
- ・グラウンドゴルフ(隔週土曜日)
- ・センター報の発行
- ・地域防災訓練
- ・高年大学出前講座【中止】
- ・納涼ふるさと祭り【中止】
- ・ふれあい体育祭【中止】
- ・ふれあい喫茶
- ・海内ピクニック(若者による若者のイベント)



グラウンドゴルフ  
(第1・3土曜日開催)

#### 【みんな活の取り組み】

- ・地域まちづくり計画を見直すために、住民の皆さんの困りごとや意見を聞くための「住民アンケート」の結果を分析し、住民への報告を行った。
- ・具体的な活動の見直しのほか、「まちづくり計画」の見直しを行い、身の丈に合った新たな計画を策定した。
- ・今後、将来を見据えた組織や役員体制の見直しを行い、負担軽減を図る予定。

### 3 成果と課題

---



2つの自治会により構成されているため、まとまりがよく、若者の参加も盛んで、令和4年度からは地元の若者が中心で活動する団体「海内山歌」が発足した。当該団体は、旧海内小学校跡を活用し、活動拠点としながら地域に根差した活動を地域づくり協議会とともに挙る予定。

住民アンケートの結果を活かし、地域が目指す方向性について協議し、「地域まちづくり計画」の見直しを行い、新たな「地域まちづくり計画」が完成した。

今後、イベントに対する負担感も大きくなってきていることや、組織の役など事業や組織体制について見直し検討をしていく。

---

## ⑦ 江川地域づくり協議会（担当課：企画防災課）

- (1) 代表者等：木村政照 会長、久保正彦 センター長
- (2) 活動拠点：佐用町豊福272番地 江川地域づくりセンター(江川文化センター)
- (3) 対象：江川地区住民884人
- (4) 構成部会：4部会・広報委員会

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

「江川地域づくり計画」を基に、「地域みんなで 安全安心な 明るく住みよい 江川の里づくりを！ーことおこし 人おこし 物おこしー」を基本理念に、住民の皆様に親しまれる住民参加型の安全・安心で明るく住みよい地域づくり活動を展開している。

### 2 事業内容

江川の恵まれた地域資源や人材を活用し、活力や魅力あふれる地域にしていくための活動を行っている。

また、「江川ふれあい号」の運行においては、運転手や受付係も地域住民が行い、地域で支える公共交通事業を実現させている。

#### 【主な事業】

- ・グラウンドゴルフ大会
- ・ラジオ体操会
- ・陰陽師の里写真コンテスト
- ・歩こう会
- ・高年大学出前講座・スポーツ大会【中止】
- ・しめ縄作り講習会・子ども見守り活動【規模を縮小して実施】
- ・いきいき100歳体操・センター報発行
- ・ふれあい喫茶・喫茶ほっとえかわ

### 3 成果と課題

地域の資源を活用したイベントの開催や地域課題に向き合った事業「ふれあい号の運行」など活発な活動を実施している。令和元年度から実施している「みん活」では、地域課題がいろいろ出てきたが、空き家対策と耕作放棄地問題に取り組む事にした。空き家については、町の定住施策や空き家バ

シブの仕組を商工観光課による出前講座により学び、ワークショップ等を実施し、利活用できる空き家について、情報収集・提供等を地域で取り組み、町の空き家バンクに登録する事が出来た。

また、江川ふれあいホールに島根大学のサテライトラボである「さよラボ」が設置され、島根大学生による空き家調査が実施された。

耕作放棄地問題については、令和3年度より「ひょうご農林機構」が県のモデル事業として江川地域の耕作放棄地問題に取り組み、農地勉強会を複数回実施。

令和4年度には引き続き「ひょうご農林機構」の伴走支援を受けながら、農地勉強会と併せて仁方集落を中心に獣害問題にも取り組み、農地アンケートの実施及び分析と報告、ドローンを活用した害獣調査や獣害柵調査を行った。

また、放棄田でビールの原料で有るホップを作り、江川オリジナルビールを作成し、ふるさと納税の返礼品や地元酒屋での販売など、地域でアイデアを出し取り組んだ。

今後も活動を継続させていくため、事業への若者参加などを呼びかけ、地域リーダーの後継者育成に取り組んでいきたい。

---

## ⑧ 幕山地域づくり協議会（担当課：上月支所）

- (1) 代表者等：尾崎攝男 会長、谷口茂信 センター長
  - (2) 活動拠点：佐用町福吉681-1 幕山地域づくりセンター
  - (3) 構成人数：構成員92人
  - (4) 構成部会：まちづくり文化部、健康福祉部、地域部、広報部
- 

### 1 趣旨・目的・経緯等

生涯学習を通じて、地域社会における住民相互の交流と住民主体の文化活動、健康増進、福祉活動、環境の保持・改善を促進する。

併せて安全で安心な地域社会の実現のための防災体制の確立、次世代育成と地域活性のための支援活動などを実施する。

### 2 事業内容

#### 【主な事業】

- ・ふれあい農園管理(通年) ・パソコン教室(通年)
- ・野菜作り教室(8月) ・ラジオ体操会(8月) ・花火大会(8月)
- ・上月小学校ふれあい運動会(9月)
- 校区内の3つの地域づくり協議会が合同で運営を助成。
- ・敬老事業(9月) 記念品贈呈
- ・ふれあい運動会(10月) 【中止】
- ・幕山ふれあいまつり(11月) 【中止】
- ・健康講座(11月) 【中止】
- ・歴史を訪ねて歩こう会 [杉坂史跡] (11月)
- ・防災講習会(12月) ・グラウンドゴルフ大会(12月、3月)
- ・剪定講習会(1月)



老いも若きも！元気にラジオ体操！

- ・ふれあい喫茶(2月) ・地域づくり協議会研修会(2月)
- ・不法投棄物調査・回収(3月)
- ・広報誌発行 (4、6月)
- ・みん活(みんなの地域づくり協議会活力向上プロジェクト)

令和4年10月から運営委員会にて協議会の振返りを行っている。令和5年度は若い人たちの関わりを深める取組みや、住民アンケートの作成・回収・集計を行った。これからの幕山の地域づくりの方針を協議していく。

### 3 成果と課題

これまでも少子高齢化、人口減に伴う地域課題を協議会で解決するため、運営委員会を中心に協議を進めている。コロナ感染状況を鑑みつつ行事を再開し、交流活動を展開している。

また昨年度から引き続き協議会の振返り(みん活)による地域課題に関する協議や、若者の参加を促すための企画やアンケート作成に係る協議をすすめ、今後の協議会のありかたについて検討を重ねている。

---

---

## ⑨ 上月地域づくり協議会 (担当課：上月支所)

- (1) 代表者等：岡本正幸 会長、平井隆樹 センター長
- (2) 活動拠点：佐用町上月787番地2 上月地域づくりセンター(上月文化会館内) 電話：86-1153  
\* 毎週火曜日の午前中に開設
- (3) 構成人数：20人
- (4) 構成部会：企画係、広報係、会計係

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

平成18年7月「“参加から、参画へ”健康で明るい地域をつくろう！」をキャッチフレーズに設立。

少子高齢化社会を迎え、住民相互の交流と住民主体の文化活動、健康増進、福祉活動、環境の保持・改善を促進し、併せて、安全安心な地域社会実現に向けた防災体制の確立、次世代育成と地域活性化の支援活動などの実施により地域問題を解決し、住民が連帯してまちづくりに寄与することを目的とする。

### 2 事業内容

#### 【協議会全体の取り組み】

- 「上月地域づくり協議会 企画会議」(通年)
- 企画会議説明会2回、企画会議5回

#### 【主な事業】

- 「ラジオ体操会」(7月)
- 「グラウンドゴルフ大会(年2回)」
- 「上月小学校ふれあい運動会」(9月)

- 「上月城ふるさと祭り」(10月)
- 「万能峠の美化活動」(12月)
- 「新春ウォーキング」(1月)
- 「役場職員との美化活動」(3月)
- 「自治会まちづくり活動助成」
- 「地域行事への資機材の貸出し」
- 「資源回収事業(アルミ缶回収)」

【皆田和紙保存会との共催事業】

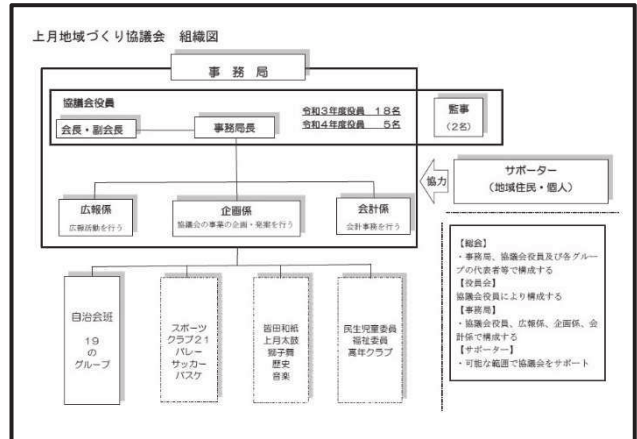
- 「上月行燈祭(鎮魂の灯り展)」(8月)
- 「上月小児童による行燈づくり」(10月)
- 「クリスマス街の灯り展」(12月)

【歴史を考える会との共催事業】

- 「上月城の歴史講座」(6月)

【広報係事業】

- 「地域づくりかわら版「こうづき」発行(4月、8月、1月)」



「上月地域づくり協議会の新たな組織図」

### 3 成果と課題

昨年度まで取り組んだ協議会活動のふりかえり(みん活)によって、大幅な組織改革を実現した。新たな協議会の核となる企画係を中心に、皆田和紙保存会や上月太鼓、今年度に発足した歴史を考える会(歴カン)等のグループと連携しながら、年間を通じて事業を行うことが出来た。企画係の構成員や新たなグループの協議会への勧誘が停滞しており、今後の課題である。

## ⑩ 久崎地域づくり協議会 (担当課：上月支所)

- (1) 代表者等：芳原清和 会長、矢野博之 センター長
- (2) 活動拠点：佐用町久崎331-1 久崎地域づくりセンター
- (3) 構成人数：60人
- (4) 構成部会：健康福祉部、まちづくり文化部、広報部

### 1 趣旨・目的・経緯等

「できることから参加しましょう ふるさと久崎まちづくり」を基本目標に、子どもから高齢者までのすべてのかたが、知恵や労力を出し合い、ふれあいを深め、地域の課題を共有しながら、安心して暮らせる明るく住みよい地域づくりをめざす活動を展開する。

### 2 事業内容

【主な事業】

- ・高瀬舟まつり(7月) ※高瀬舟のライトアップ展示
- ・佐用日本語学校との交流会(8月)

- ・上月小学校ふれあい運動会(9月)  
校区内の3つの地域づくり協議会が合同で運営を助成。
- ・グラウンドゴルフ大会(11月)・地域づくり講演会(11月)
- ・久崎市(12月)【中止】
- ・運営委員研修(2月)・歩こう会(2月)
- ・広報誌発行(7、11月、2月)



高瀬舟のライトアップ

### 3 成果と課題

令和元年度から2年度の約2年間行った協議会の振り返りにて、大幅な組織の改編や規約改正を行っている。事務局会議の定例化や、実行委員会方式でのイベント開催など、新たな体制にて活動することが定着してきた。

コロナ行動制限緩和により関西学院大学ボランティアサークル“チャコネット”との交流再開や、佐用日本語学校(旧久崎小学校舎)と新たな交流が出来、地域の活性化を図っている。こうした地域づくり協議会の活動に主体的に参加し、活動できる人材の発掘や育成が引き続きの課題である。

## ⑪ 中安地域づくり協議会 (担当課：南光支所)

- (1) 代表者等：巴弘明 会長、山本正慶 センター長
- (2) 活動拠点：佐用町安川239番地(中安ふれあいセンター内)
- (3) 構成人数：37人
- (4) 構成部会：まちづくり部会、ふれあい部会、広報部会

### 1 趣旨・目的・経緯等

地域社会における住民相互の交流と、住民主体の文化、学習、健康増進、福祉活動等を促進し、併せて環境の保持・改善・防災・防犯体制の確立、次世代育成にかかる地域活性化のための活動などを実施する。それにより、地域住民が連帯して地域の問題解決にあたり、中安地域のまちづくりを行い、隣接協議会と協力し、地域の活性化に寄与することを目的とする。



ホタルの幼虫の放流

### 2 事業内容

#### 【まちづくり部会】

- ・6月～11月 ホタル復活活動 南光小学校3年生／中安ふれあいセンター
- ・通年 地域一斉清掃活動 中安地域
- ・通年 食用油回収事業 中安ふれあいセンター
- ・月1回 自治会長連絡会 中安ふれあいセンター
- ・通年 中安生活安全グループの活動

11/3(祝)	高倉山ハイキングコース整備	高倉山
3/5(日)	視察研修会	村営ふれあいマーケット(神河町)

### 【ふれあい部会】

10/26(水)	ふれあいグラウンドゴルフ大会	中安グラウンド
11/12(土)	ふれあいハイキング	たつの市新宮町
3/19(日)	中安ふれあいサロン	中安ふれあいセンター

### 【まちづくり部会／ふれあい部会】 合同

9/11(日)	防災訓練	中安グラウンド
---------	------	---------

### 【広報部会】

- ・年2回 「センター報なかやす」発行 中安地域全戸配布

## 3 成果と課題

コロナ禍における制限された活動のなか、出来ることから慎重に各種行事を計画し交流を深めることができた。

今後は地域づくりの活性化を図るために「みん活プロジェクト」を活用し、次世代のリーダーやグループを育成していく必要がある。

## ⑫ 徳久地域づくり協議会 (担当課：南光支所)

- (1) 代表者等：阪東新一郎 会長、尾上茂 センター長
- (2) 活動拠点：佐用町下徳久1005-1(南光文化センター内)
- (3) 構成人数：37人
- (4) 構成部会：ふれあい部会、まちづくり部会、広報部会

## 1 趣旨・目的・経緯等

地域社会における住民相互の交流と、住民主体の文化、学習、健康増進、福祉活動等を促進し、併せて、環境の保持・改善・防災・防犯体制の確立、次世代育成にかかる地域活性化のための活動などを実施する。それにより、地域住民が連帯して地域の問題解決にあたり、徳久地域のまちづくりに寄与することを目的とする。

## 2 事業内容

### 【まちづくり部会】

- ・通年 交通安全活動
- ・通年 防犯啓発活動
- ・5月連休・11月上旬 環境美化活動 各自治会において一斉清掃
- ・令和4年5月29日(日)、令和4年11月20日(日) リサイクル活動 南光小学校子供会、PTAに協力
- ・令和4年6月18日(日) 防災勉強会(南光文化センターにて午前・午後に分け、各自治会代



表者に参加して頂いた)

- ・令和4年7月16日～7月30日 ひまわり畑に案山子を展示

#### 【ふれあい部会】

- ・令和4年7月24日(日) ラジオ体操(南光小学校で実施)
- ・令和4年11月21日(日) ふれあいグランドゴルフ大会、秋の収穫祭(南光スポーツ公園)
- ・ふれあい喫茶を12月(南光文化センター)、2月(地域福祉センター)にて実施

#### ・【その他】

- ・運営委員研修を、令和5年2月26日、神戸市北区大沢町、大沢ふれあいのまちづくり協議会を訪問し、意見交換会を実施



防災勉強会

### 3 成果と課題

コロナ禍にありながら、「ふれあいグラウンドゴルフ大会」、「秋の収穫祭」、「ふれあい喫茶」には多数の住民の皆さんが参加され、楽しんで頂けた。

大沢ふれあいのまちづくり協議会との意見交換では、有意義なお話を聞かして頂けた。地域住民自らが協議会活動に積極的に参画してもらえらるための情報提供の工夫を考えて行きたい。

### ⑬ 三河地域づくり協議会 (担当課：南光支所三河出張所)

- (1) 代表者等：橋本公六 会長、淡路剛 センター長
- (2) 活動拠点：佐用町上三河158番地1 三河基幹集落センター
- (3) 構成人数：42人
- (4) 構成部会：安心安全部会・自然環境部会・農業部会・子育て文化部会・地域交流部会

#### 1 趣旨・目的・経緯等

地域社会における住民相互の交流と、住民主体の文化、学習、健康増進、福祉活動等を促進し、併せて環境の保持・改善、防災・防犯体制の確立、次世代育成にかかる地域活性化のための活動などを実施することにより、地域住民が連帯して地域の問題解決にあたり、三河地域のまちづくりに寄与することを目的とする。

#### 2 事業内容

##### 【主な事業】

- ・九輪草ウォーキング・ガーデニング【実施】
- ・ふれあい喫茶【実施】
- ・古写真展【実施】
- ・趣味の作品展【実施】
- ・千種川の清流を守るイベント【中止】



九輪草ウォーキング



- ・三河地区ふれあい運動会【中止】
- ・防災学習会【実施】
- ・農地活用研修会【実施】
- ・さんぽでゴミ拾い【実施】
- ・サークル活動の応援【実施】  
(グラウンドゴルフ・囲碁・いきいき100歳体操・手作りの会)

### 3 成果と課題

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できない事業もあったが、いろいろと工夫しながら事業を実施することができた。また、令和3年度から地域づくり協議会活動の見直しをはかる(みん活)に取り組んできた。今年度は2回開催し、さようみん活フォーラム2023で成果を発表した。

また住民アンケートも実施。事業の運営、内容について検討すること、運営するための組織の見直しをすることが次年度への課題である。

## ⑭ 三日月地域づくり協議会 (担当課：三日月支所)

- (1) 代表者等：藤本正文 会長、舟引進八 センター長
- (2) 活動拠点：佐用町三日月1110-1(三日月地域交流センター内)
- (3) 構成人数：81人(運営委員)
- (4) 構成部会：ふるさと部会、喫茶であい部会、男の料理教室部会、風車部会、やつで会部会、歴史保存部会、イルミネーション部会、三日月の誇り部会、健康ヨガ部会、地域(東部・花の郷・西部)部会

### 1 趣旨・目的・経緯等

少子高齢化社会を迎え、生涯学習を通じて地域社会における住民相互の交流と住民主体の文化活動、健康増進、福祉活動、環境の保持・改善を促進し、併せて、安全で安心な地域社会の実現のための防災体制の確立、次世代育成による地域活性化のための支援活動などを実施することにより、地域の問題を解決し、住民が連帯して三日月地域のまちづくりに寄与することを目的とする。平成18年6月設立。

### 2 事業内容

#### 【主な事業】

- ・都市農村交流事業として流しそうめんイベント【中止】
- ・日限地蔵尊夏季大祭にて花火の打ち上げ【コロナで休止】
- ・味わいの里三日月駐車場周辺にて「武家屋敷マルシェ&ウォーク」
- ・三日月駅にイルミネーション設置、設置後点灯式を実施
- ・子どもの見守り放送を継続して実施
- ・陣屋館前のルピナス植栽を支援
- ・米食堂おいでな(交流食堂、配食を兼ねた見守り)の運営
- ・三日月地域交流センター(三日月支所庁舎)1階にて、喫茶であいを随時開催



イルミネーション点灯

### 3 成果と課題

---

専門的な部会を中心に各分野で活発な活動を展開している。また、若手の人材を発掘することにより、未来への明るい展望が見えてきている。

今後は、住民の視点を基本にした「三日月まちづくりブック」における5本の柱を軸に、取り組みを一つずつ実行する。中でも平成29年度に三日月藩の表門が移設復元され、三日月藩の歴史資料(陣屋館、廣業館、三方里練兵場、列祖神社、武家屋敷群など)とともに地域づくりに生かしていく。今後は、「西の平福 東の乃井野」をキャッチフレーズに、特に武家屋敷の整備にも取り組んでいくこととしている。

また、「三日月まちづくりブック」を平成25年に発行してから目標期間の10年が経過し、令和5年1月に見直しを目的とする住民アンケートを実施。

次の10年に向けた目標設定と、活動に取り組んでいる。

---

---

## ⑮ 佐用チャンネルの番組制作 (担当課:情報政策課広報室)

- (1) 団体名：特定非営利活動法人 まちかど
- (2) 代表者：井上 昇蔵 理事長
- (3) 構成人数：11人

---

---

### 1 趣旨・目的・経緯等

佐用チャンネルの番組制作について、町内のまちかどカメラマンから結成したNPO法人まちかどに業務委託を行い運営している。

主に地域づくり協議会などのイベントや町行事の撮影、編集を行っている。

また、町内における地域の歴史、文化、伝統行事を伝承する番組作りをはじめ、地域の情報化の進展と活性化に寄与する番組作りも目的としている。

### 2 事業内容

---

#### (1) 地域活動の記録に関する事業・佐用チャンネルの番組制作事業

町内の活動を記録し佐用チャンネルで放送することで、地域づくり協議会が行っている取り組みの紹介や地域の活性化につながる番組制作に取り組んでいる。

番組制作については、ゆっくりとした場面の構成や見やすい大きめのテロップで高齢者にもわかりやすい番組をお届けし佐用チャンネルで地域の動きが感じられるものとしている。

### 3 成果と課題

---

#### ○成果

「佐用チャンネル」の制作委託を受け、年間約120本程度の地域イベントを主とした番組を制作した。子どもたちや地域住民の笑顔や活動する姿をとらえ放送できた。

○課題

佐用チャンネルが開始して15年が経過し、会員の高齢化が進んでいる。現在、運営に支障は出ていないが、今後の活動を持続していくために、新たなNPO法人会員やボランティアカメラマンを増やしていく必要がある。



番組制作風景

## 5 資料

### (1) 町内各施設(生涯学習施設等)利用状況【令和4年度実績】

(人数)

施設名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
<b>【佐用地域】</b>														
さよう文化情報センター	ホール	284	603	512	550	497	341	881	1,331	668	448	248	887	7,250
	舞台のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ホワイエ	40	0	0	0	504	0	0	179	495	10	0	887	2,115
	会議室1兼ギャラリー	118	135	416	464	655	38	243	549	592	72	495	386	4,163
	会議室2・3	159	186	179	598	207	123	168	351	166	198	69	669	3,073
	リハーサル室	48	52	83	89	132	92	169	273	188	83	178	269	1,656
	開館日数(日)	29	28	30	30	30	28	30	28	28	27	26	26	30
西はりま天文台公園	入園者数	1,506	2,374	1,725	1,927	3,675	1,470	2,220	2,059	1,037	532	722	1,593	20,840
	宿泊者数	456	811	825	652	1,145	611	1,126	724	419	188	157	553	7,667
	観望会参加者数	458	806	380	709	1,492	512	764	563	415	247	178	581	7,105
スピカホール	利用日数(日)	8	2	2	8	5	4	4	5	2	0	0	3	43
	使用者(見学・来園含)	374	316	99	299	148	190	526	413	29	1	2	269	2,666
	開館日数(日)	26	26	26	27	26	25	26	26	26	12	9	12	27
西山会館	利用件数(件)	42	36	40	40	29	26	40	46	28	27	13	25	392
	大会議室	158	117	74	122	121	81	195	188	122	120	49	120	1,467
	中会議室	86	85	90	95	29	72	84	87	50	62	58	64	862
	小会議室	16	14	24	18	11	16	16	24	4	4	6	29	182
	和室	15	20	51	51	14	0	3	0	0	0	0	9	163
	利用者数合計(人)	275	236	239	286	175	169	298	299	176	186	113	222	2,674
* 西山会館…R5.2.12～R5.3.10 スロープ設置工事につき利用を停止。(その間、文化情報センターへ振り替え)														
<b>【上月地域】</b>														
上月文化会館	パソコン室	75	72	52	62	74	78	82	62	50	63	99	36	805
	研修室1・2	282	273	350	235	274	345	321	223	131	147	468	433	3,482
	和室1・2	31	27	25	29	35	25	15	25	35	20	35	25	327
	大ホール	0	0	0	0	0	0	0	80	140	0	0	0	220
幕山地区センター	大ホール	67	92	66	118	146	55	83	87	119	87	157	75	1,152
	和室1・2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	調理室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議室	10	0	31	12	0	0	0	20	10	10	0	0	93
久崎地区センター	集会室1・2・3	53	179	70	129	52	140	51	125	64	106	133	121	1,223
	和室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロビー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合交流促進施設	伝統芸能保存室	55	35	42	25	35	44	43	54	44	15	38	38	468
	陶芸室	96	84	120	111	111	108	80	100	76	58	86	128	1,158
<b>【南光地域】</b>														
南光文化センター	調理実習室(1階)	21	12	28	9	31	12	34	25	40	25	35	25	297
	健康相談室(1階)	85	47	91	177	415	263	303	359	270	32	77	104	2,223
	和室(1階)	55	30	73	37	69	40	55	90	170	73	108	103	903
	第1会議室(1階)	60	30	53	52	34	63	25	58	51	67	50	121	664
	第2会議室(2階)	100	82	135	342	129	22	79	37	62	49	49	143	1,229
	第3会議室(2階)	20	42	100	317	103	5	47	37	28	20	10	91	820
	大ホール(2階)	477	312	360	815	573	241	295	325	643	395	424	185	5,045
	開館日数(日)	25	23	26	27	25	25	27	25	24	24	23	26	300
中安ふれあいセンター	機能訓練室	361	105	43	347	60	75	61	64	108	53	64	188	1,529
	介護予防教室	37	38	34	40	47	39	35	36	35	34	29	29	433
	調理実習室	7	13	10	8	10	16	10	20	16	7	7	14	138

## 5 資料

(人数)

【三日月地域】		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
三日月地域 交流センター	201会議室	29	19	29	36	11	274	20	66	19	11	14	57	585
	202会議室	74	50	71	64	47	286	34	78	25	44	54	53	880
	203会議室	6	20	8	0	0	240	9	83	0	0	0	25	391
	204会議室	75	81	141	60	66	301	73	217	51	48	69	81	1,263
	大集会室	30	15	45	45	45	285	79	91	0	0	0	0	635
	トレーニングコーナー	21	42	52	65	57	56	51	60	38	35	42	71	590
	多目的室	130	80	110	140	110	80	110	120	110	80	120	110	1,300
三日月陶芸センター	利用件数	4	5	4	9	10	6	4	2	4	2	4	4	58
	利用者数	27	45	25	94	91	30	28	16	24	11	22	21	434

## 5 資料

### (2) 町内各施設(社会体育施設等)利用状況【令和4年度実績】

(人数)

施設名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
<b>【佐用地域】</b>														
町民プール(あめんぼ)	一般・団体利用	574	580	635	695	499	603	549	480	401	345	399	505	6,265
	学校利用	0	0	405	698	161	0	0	0	0	0	0	0	1,264
	スイミングスクール	1,504	1,137	1,444	1,512	1,233	1,668	1,672	1,660	1,248	1,604	1,647	1,695	18,024
	利用者数合計(人)	2,078	1,717	2,484	2,905	1,893	2,271	2,221	2,140	1,649	1,949	2,046	2,200	25,553
	開館日数(日)	26	26	26	27	19	26	26	26	26	23	22	24	26
江川体育館	アリーナ	130	130	149	354	68	194	174	100	100	70	100	115	1,684
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	26	28	28	31	357
長谷体育館	アリーナ	45	54	44	157	23	96	76	261	83	65	25	14	943
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	26	28	28	31	357
平福体育館	アリーナ	3	50	70	30	20	53	0	105	15	0	0	50	396
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	26	28	28	31	357
利神体育館	グラウンド*	199	182	220	564	69	250	335	143	64	110	20	390	2,546
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	26	28	28	31	357
石井体育館	アリーナ	75	30	35	70	20	64	35	163	0	5	0	50	547
	卓球場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	26	28	28	31	357
石井介護予防館	グラウンド*	0	0	23	80	0	0	0	16	5	2	0	0	126
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	27	28	31	358
<b>【上月地域】</b>														
上月体育館	アリーナ	1,413	1,042	1,498	2,241	1,142	766	1,510	2,634	1,099	1,118	2,516	1,170	18,149
	トレーニングルーム	212	202	253	253	240	233	285	227	200	230	194	207	2,736
	武道場	86	44	123	158	87	59	238	96	129	62	109	250	1,441
	ミーティングルーム	81	51	84	196	26	64	140	100	38	81	120	60	1,041
	合計	1,792	1,339	1,958	2,848	1,495	1,122	2,173	3,057	1,466	1,491	2,939	1,687	23,367
	開館日数	29	31	30	30	31	29	30	29	27	26	27	30	349
上月グラウンド	グラウンド*	567	1,256	586	919	527	425	845	507	786	81	950	459	7,908
	内 照明使用	90	145	165	396	237	75	160	75	90	0	0	45	1,478
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
幕山体育館	アリーナ	6	0	8	7	0	0	0	0	0	0	0	6	27
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	27	26	28	31	356
久崎体育館	アリーナ	125	117	126	143	174	100	199	132	75	45	49	172	1,457
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	27	26	28	31	356
<b>【南光地域】</b>														
南光スポーツ公園	第1グラウンド*	697	790	890	295	490	775	730	450	395	0	290	640	6,442
	内 照明使用	165	220	270	110	95	335	325	210	140	0	0	70	1,940
	第2グラウンド*	735	1,320	275	215	335	410	1,210	475	705	195	270	350	6,495
	テニスコート	259	381	446	349	356	435	383	257	241	175	313	331	3,926
	生きがいドーム	354	64	700	485	531	263	542	962	713	661	466	1,058	6,799
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	27	27	28	31	357
中安体育館	アリーナ	125	100	220	230	200	166	190	215	125	110	235	137	2,053
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	27	28	31	358
三河体育館	アリーナ	180	180	160	180	180	160	240	270	210	240	240	273	2,513
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	27	28	31	358
<b>【三日月地域】</b>														
三方里山公園	公園利用者数	1,080	1,289	500	515	713	600	767	588	275	233	250	754	7,564
	内遊具利用者数	889	1,101	428	413	511	495	611	451	194	183	199	630	6,105

# 令和4（2022）年度 佐用町生涯学習活動のあらまし

令和5年6月

佐用町教育委員会事務局生涯学習課  
〒679-5301  
兵庫県佐用郡佐用町佐用 2585  
TEL : 0790-82-3336  
FAX : 0790-82-0313  
URL : <http://www.town.sayo.lg.jp>